

# 八戸学院大学 学報

## 八戸学院大学短期大学部

**建学の精神**  
「神を敬し、人を愛する」  
八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部は、カトリック精神に則る道徳教育を施し、高潔なる人格の完成を期し、現代社会が要請する有為の人材を育成することを建学の精神とする。

### 地域とキャンパスに笑顔とにぎわい戻る

#### はちがくフェス「煌星 ～光を繋いで～」が行われました

八戸学院大学・短期大学部学園祭、『はちがくフェス2022』が令和4年10月22日（土）・23日（日）に開催されました。



今年のテーマは、「煌星～光を繋いで～」とし、煌（こう）は煌めき、明るいという意味で、コロナ前の楽しさとコロナ禍でしかない楽しさ、そういう光を星に例え、後世に繋ぐという願いを込めました。今年は、3年ぶりに一般来場可能とし、キッチンカーや、海上自衛隊大湊音楽隊の演奏、そして花火大会と例年以上のイベント内容で開催することができ、多くの方々にご来場していただきました。来年のはちがくフェスもより充実した学園祭となるよう企画・運営を行なっていきたいと考えております。



#### 硬式野球部：ドラフト指名を受けました



プロ野球ドラフト会議で本学硬式野球部の松山晋也投手（八戸学院野辺地西高等学校出身）が中日ドラゴンズから育成1名指名を受けました。

松山投手は1年生から3年生までは、登板機会はありませんでしたが、4年生に飛躍的な成長を遂げチームを代表する投手となりました。4年生の秋季リーグ戦では、最速154キロの直球を主に7試合を投げ防御率0.69の好成績を収めスカウトに注目されました。



#### 八戸学院大学40周年記念講演会が行われました

令和4年10月6日（木）、八戸学院大学40周年記念として講演会が行われました。講師には、学校法人玉川学園理事長・玉川大学学長・玉川学園園長の小原芳明（おぼら よしあき）先生にお越しいただきました。（※新型コロナウイルス感染の影響により令和3年開催予定から1年延期して開催）



前半の部では、「飲水思源」と題して、玉川学園の校章でもある「夢」について本学学生にお話しをしていただきました。

また、後半の部では、「温故知新」をテーマに、これからの私学復興（改善）へ向けてのお話しを教職員にさせていただきました。本学学生や教職員からの質問にも、ご丁寧にお答えいただき大変貴重な講演会となりました。



#### 海外研修（タイ）が4年ぶりに行われました

令和5年3月3日～3月14日の期間、本学の学生3名と教員1名で4年ぶりにタイ王国チェンマイ海外語学研修を実施いたしました。

今回の海外語学研修では、AUA語学学校でタイ語の勉強やメジョー大学の見学に加え、Elephant Nature Park（象の保護施設）見学など、タイでの貴重な日常を体験することができました。



## 令和4年度 地域経営学部地域経営学科の活動紹介



第3回「八戸SDGsフォーラム」開催

地域経営学科は、令和5年3月12日（日）に八戸ポータルミュージアム「はっちひろば」で第3回「八戸SDGsフォーラム」を開催した。今回のフォーラムでは、新型コロナウイルス感染も収束しつつある状況に鑑み、高校生及び大学生が集う対面での発表で行われた。今回のフォーラムは、昨年度に比べて高等学校7校、12グループの参加に上った。各高校のテーマは多岐にわたっている。八戸水産高校「キレイ 鮫・海 大作戦——鮫オーシャンサポーターズ」、八戸工業高校「環境調和型材料で取り組むSDGs」、八戸北高等学校「∞の都、八戸！～人口減少にまけないパワーを～」と「八戸の海を守るために」、八戸工業大学附属第二高等学校「八戸えんぷりと戦争——昭和初期」と「鬼ごっこ with Drone」、八戸聖ウルスラ学院高「ウルスラ『服のチカラ』プロジェクト——5年目の改革」、八戸高等学校「子供が搾取されない社会へ」と「八戸の廃校利用について」、八戸東高等学校「人が来る施設を作ろう」と「人間ドック適正アプリ」、八戸学院光星高等学校「地域のイベントと経済効果」であった。そして、前回と同様、八戸学院大学の教員が高校生の発表に講評を行う形態をとった。

大学の部では、地域経営学科の高須ゼミが「トランスジェンダーのトイレ利用」、井上ゼミ「規格外・未利用農作物の活用に関する研究——地域農業の活性化を目指して」、人間健康学科の大木ゼミが「さまざまな団体との協働による地域福祉」をテーマにしてそれぞれ発表した。高校生、大学生の発表もそれぞれが文献研究、現地調査、インタビュー等を駆使し、幅の広い、かつ深い内容であった。

地域経営学科としては、地域（地元）が継続的に発展するためにも高校生及び大学生が地域に向けて発信する機会を作り、2023年度も第4回「SDGsフォーラム」を開催していく所存である。



### 中国とのオンライン交流

11月16日（水）に、中国の広西城市職業大学との間でオンライン交流会を実施した。広西城市職業大学からは38名の学生が、また本学からは7名の学生が参加した。

交流会では、最初に広西城市職業大学国際学院長の謝金媚先生、並びに日本語学科長の陳潔先生からご挨拶をいただき、その後、学生によるグループ発表、両国の若者言葉の紹介、質疑応答などが行われた。



グループ発表では、広西チワン族自治区の概況や八戸の自然、また子供の遊びなどについてのプレゼンテーションが行われた。中でも、子どもの遊びについてのプレゼンテーションでは、実際に両大学の学生同士で「ジャンケンポン、あっち向いてホイ」を行ったが、国の違いやオンライン上のタイムラグを感じることもなく、両会場とも緊張感が和らいで笑顔に包まれ、大いに盛り上がった。

本交流会は、若者たちの将来に渡る友好関係の醸成、並びに若者たちのキャリア発達の促進、また若者たちの国際的視野の養成の観点から開催された。両国の学生は事前準備を念入りに行いながら、意欲的にプレゼンテーション等に取り組み、有意義な時間を過ごすことができた。本プログラムに対する学生の評価も上々であった。

広西城市職業大学とは、今回が初めての交流会であったが、成功裏に滞りなく交流会を進めることができたため、次年度以降も継続的に本交流会を実施していくことになった。ちなみに、この交流会が契機となり、2023年3月に、学生と教員の交流に関する連携協定を締結した。

なお、広西城市職業大学は、江西省南寧市にキャンパスを置く、在学者数3万人を有する中国最初の四年生職業技術大学の一つであり、産学連携と地域連携を重視し、実学主義を理念としている大学である。



### 規格外・未利用農作物の活用に関する共同研究事業

地域経営学部 井上 丹

八戸学院大学と八戸市の連携協定に基づき、農作物の規格外等の活用に関する共同研究及び試験販売等を実施することで、廃棄農作物の削減促進と農作物の新たな価値の創出による農業者の所得向上を図ることを目的として、井上ゼミの学生が八戸市農業経営振興センターの協力を得て事業を行った。

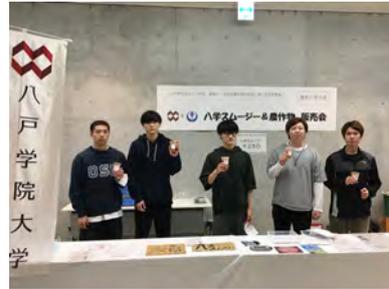
価値を再評価すべき市内農作物または加工・販売方法によって価値が見いだせるものを探し、新たな流通方法を研究するため、まずは八戸市内の生産者を訪問した。「環境緑花工業(株)」では、廃棄物処理業で発生する熱により植物工場内の気温や水温を調整できるため、季節を問わずサン



環境緑花工業トマト収穫

チュウパクチー、いちご、スナックトマトなどを水耕栽培している。規格外は肥料にするなど、各事業間で循環させており、まずは栽培した農作物の有効活用を検討すべきであることがわかった。また、「岩館りんご園」でも同様に規格外は生産地で循環させていたが、今年は雹の被害にあった林檎が多くあり活用方法の相談があった。そこでこの林檎と、環境緑花工業のスナックトマトを使ったスムージーを販売することにした。

スムージーを販売することにした。



スムージー販売の様子



はちがくスムージーと使用林檎

八戸ポータルミュージアムはっちでスムージーを販売している「very berry +」から助言を受けて試行錯誤の結果、味や見た目が良いものが完成した。10月にはっちで試験販売し完売でき、購入者からアンケートを取ったところ満足度が高かった。今後も継続できる方法を検討している。

## 令和4年度 健康医療学部人間健康学科の活動紹介

### 人間健康学科の取り組み

人間健康学科では、令和4年度から入学定員を80人から100人に変更し、今年度は122人の入学生を迎えている(2022年5月1日現在)。定員を超える学生を迎えるにあたり、よりきめ細かな教育支援を行うため、従来からのカレッジアドバイザー会議を充実させ学生の状況について情報共有を図っている。

また今年度新たに、玉川大学(通信課程)との連携協定を結び、令和6年度から本学3年次に在学し中学校教諭一種及び高等学校教諭一種免許状(保健体育)を取得見込みである場合、小学校教諭二種免許状の取得をめざすことができるプログラムの開設準備を開始した。

教員免許の取得は、高等学校教諭一種免許状(保健体育)は24名、中学校教諭一種免許状(保健体育)は14名(うち高校教諭・中学教諭とも両方の取得11名)、養護教諭一種免許状は24名が取得している。また公立学校教員採用試験には、養護教諭2名(1名が青森県と北海道、1名が北海道)が現役合格、JATI認定トレーニング指導者試験は1名が受験、JSPO公認スポーツリーダー(新コーチングアシスタント)は3名が申請している。社会福祉士国家試験は、6名が受験し2名が合格(合格率33.3%)している。認定心理士の資格申請は27名が行い、これまでで最多となっている。

健康調査は、今年度も新型コロナウイルスの影響があったが、大学祭での実施のほか、光星高校の体力測定や南部町の転倒・寝たきり予防教室を開催した。また三五流通での「健康測定会」や地域医療セミナーを開催した。公開講座は、八戸市美術館「八戸学院まちなカラボ」を会場に、学科紹介をポスター発表の形式で実施した。

以下に、健康医療学部主催の「地域医療セミナー」と、社会福祉プログラムの「相談援助演習」について紹介する。  
(人間健康学科学科長 吉田守実)

### 令和4年度「地域医療セミナー」の開催

健康医療学部主催の地域医療セミナーが、令和4年11月10日、コロナ感染状況に配慮して会場での参加人数を制限し、オンライン視聴を併用して開催された。今年度は、講師として医療法人スマイルクリエイト八戸総合歯科・矯正

歯科院長 吉田洋一先生をお迎えして、「今からでも始められる歯の健康管理」のテーマで行われた。



地域医療セミナー

歯の健康状態が、むし歯や歯周病といった歯

科疾患はもちろんのこと、全身の様々な疾患にも大きく影響し、健康寿命と密接に関連していることをわかり易く解説いただいた。そして、正しい口腔ケアの方法や、間食を含めた食生活での注意点について具体的にご指導いただいた。参加者からは、あらためて歯の健康の重要性を理解することができ、早速学んだことを実践していきたいという声が多く聞かれた。

本セミナーにおいて初めて歯科領域の話題を取り上げたが、大変好評であった。次年度以降も「地域・健康」をキーワードに、参加者にとって実りあるセミナーを企画していく予定である。  
(人間健康学科教授 遠藤守人)

### 「八戸市くらし・しごと応援センター」との連携による相談援助演習

社会福祉士国家試験の受験資格取得要件の科目である「相談援助演習」は、具体的なソーシャルワークの支援場面を想定して、支援場面のロールプレイをしたり、支援事例についてグループワークをしたりする演習形式の科目である。

今年度は、実習前年度に学ぶ3年生が履修する「相談援助演習Ⅲ」において、「八戸市生活保護受給者等就労準備支援事業 八戸市くらし・しごと応援センター」との連携により、実際のケースを検討する研修と現場の支援体験を実施した。事前の演習において履修学生らによるグループワークで支援の方向性を検討し、それをふまえて令和4年12月14日に、本学8号館多目的室において研修を実施した。研修当日には、ケースの当事者と実際に支援にかかわる他機関の支援者らも参加し、非常にリアルな実際の支援体制や専門職のかかわり方について履修生が学ぶ機会と

なった。さらに、研修をふまえて、翌週には当事者宅の清掃作業に参加した。履修生らは、当事者に必要な環境整備について考え、当事者のニーズや気持ちに寄り添いつつも、「これは捨てずにとっておいた方がいい」など、各自の意見についても当事者に伝えていた。実習指導者からは、「各々の過去の経験に基づく価値基準から、物を大切に生かす心を上手く伝えている様子がうかがえ、ワーカー（をめざす学生）しても人としても成長している。」という評価をいただいた。本演習を通して、経験的にソーシャルワークの技術や価値を理解することができ、来年度の相談援助実習がみのり多いものになると期待する。

(人間健康学科社会福祉士実習担当 大木えりか)



八戸市生活保護受給者等就労準備支援事業による支援体験研修の様子

## 令和4年度 健康医療学部看護学科の活動紹介

### 健康医療学部看護学科 第6回宣誓式および特別記念講演について

令和4年5月7日（金）健康医療学部看護学科の第6回宣誓式が開催された。今年は、新型コロナウイルス感染症対策のもと教職員および2学年の学生のみでの出席で開催された。

看護学科2年生の59名の灯火はナイチンゲールの看護の灯火を引き継ぎ、「人々の意思決定を尊重し、生活がより豊かなものになるように支援すること」「看護の受け手である人々に最善を尽くすこと」「質の高い看護を提供するため生涯学び続けること」「支えてくれる友人、家族、先生方に感謝しこれからも歩んでいくこと」を宣誓した。

宣誓式後、学生からは「看護学生としての自覚が持てた」「四つの誓いを言葉だけではなく、実行に移すことが看護師への一歩になると思った」などの感想が聞かれた。

特別記念講演では、ケアプロ株式会社代表取締役社長川添高志先生より「看護の可能性～起業や新卒訪問看護、サッカーナース～」というテーマで講演をいただいた。

講演の内容は、看護師の起業の可能性や新卒で訪問看護師を行う上での考え方、サッカーなどのスポーツにおける看護師の役割について、といった看護師の可能性の広がりを感じさせる内容であった。聴講した学生からは、「看護師の可能性を無限に感じた」「経営の勉強、看護の専門知識の応用の広さを知った」などの感想が聞かれた。

宣誓式および特別記念講演は看護学生の今後の学修や実習に向けての行動の原点となり、自らの職業的アイデン



ティティの確立にむけて成長する機会となる有意義な式典であるため、今後も継続して開催していきたい。

(令和4年度宣誓式実行委員長 健康医療学部看護学科 木村 緑)

### 令和4年度コロナ禍での臨地実習

文部科学省は、看護教育における臨地実習を次のように位置付けている。臨地実習は看護職が行う実践の中に学生が身をおき、看護職の立場でケアを行うことであり、看護の方法について、「知る」「わかる」段階から「使う」「実践できる」段階に到達させるために臨地実習は不可欠な過程である。また、看護実践に不可欠な援助的人間関係形成能力や専門職者としての役割や責務を果たす能力は、看護サービスを受ける対象者と相対し、緊張しながら学生自ら看護行為を行うという過程で育まれていくものであり、実習の場で学生は、現実の場面のみが作り出す看護する喜びや難しさとともに、自己の新たな発見を実感しつつ学生自身ができること・できないことを深く自覚させられ、対象者に対する責任を認識しつつ看護の特質を理解し学習を深めていく。この過程を通して学生は大きく成長していくとしている。

新型コロナウイルス感染症の出現から3年目となり、臨地実習中止・減少などを余儀なくされることがあったが、実習病院や施設との連絡調整、感染予防対策の徹底、フェイスシールドやアイシールドの装着、施設からの要請により抗原検査を実施してからの実習などで対応してきた。令和4年度は、実習全体の20%弱が学内実習となり、学内実習になったとしても実習目的・目標が達成されるよう工夫しながら進めることができた。

令和3年12月に、文部科学省大学改革推進等補助金ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業」に本学看護学科が選定され、多職種連携ハイブリッドシミュレーターや教育用電子カルテシステム他の導入、AV関連の整備により学内実習は今まで以上に充実させることができた。これにより、臨地実習に近いリアリティある体験が可能となり、学生の学びが深まったと評価している。

今後看護実践能力育成のために、今一度臨地実習の意味や意義を再考し、それぞれの領域において臨地実習と思考を鍛える事前課題・事後学習を一連の過程として構成し、積み上げていけるようにしていきたい。

(看護学科実習委員長 市川裕美子)

## 令和4年度 幼児保育学科・介護福祉学科の活動紹介

### 幼児保育学科

令和4年度も感染症拡大防止に留意しながら質の高い授業確保に努めるとともに、伝統的な行事はさらに充実した形式で実施することができた。行事の主な具体例としては、6月の「砂浜彫刻」、7月の「流し踊り」、11月の系列幼稚園3園の年長児との共演による「ノアの方舟」、2月に行われた「ミニオペレッタ」が挙げられる。

「砂浜彫刻」では、前年度から参加している光星高校生徒とともに、初めて系列幼稚園児も参加して実施された。学院グループの幼児、高校生、短大生の交流が初めて実現できた意義は大きい。「現代社会が要請する優位の人材を育成することを建学の精神とする」本学の教育の一貫性を再確認する機会となった。

市民の祭りである「流し踊り」は令和4年度も中止となったが、例年通り美術の授業で吹き流し制作を行って、浴衣姿の学生や教員がこれまでの幼児保育棟前のグラウンドではなく、美保野キャンパスのケヤキ並木を練り歩き大盛況であった。郷土の発展に貢献する人材育成のためにも地域の伝統文化に親しむ機会をこれからも大切にしていきたい。

系列幼稚園児との共演による「ノアの方舟」も建学の精神に基づいた文化芸術活動であり、「建学の精神」に掲げられた「カトリック精神に則る道德教育」を具現化するという意味で特筆に値するイベントであった。

「ミニオペレッタ」では、感染拡大防止に努めながら系列幼稚園児や光星高校生徒、保護者、地域の園児、卒業生など一般市民も招いて実施され、舞台と観客が一体となった盛り上がりを見せ大成功を収めた。

こうした伝統行事はもとより、全教育活動を通して本学科のディプロマポリシーの一つである「保育者としての責務を理解し、他の保育者や専門職者と協働して、子どもの最善の利益を追求することができる」学生の育成にこれからも全教職一丸となって取り組んでいきたい。



砂浜彫刻



流し踊り



ノアの方舟



ミニオペレッタ

### 介護福祉学科

介護福祉学科では令和4年度も、地域から要請される高い専門性を有した介護福祉職を養成するという基本目的に沿って教育活動を展開した。

教育活動を展開する基本的な視点として最も重視したのは「つながり」ということである。一部で新型コロナウイルス感染症の影響による制限を受けたが、学生と教員とのつながり、保護者とのつながり、系列校とのつながり、卒業生とのつながり、介護事業所とのつながり、教育関係者とのつながり、行政機関とのつながりなど、多様なつながりによる「環」を作り出しながら日々の教育、介護実習、学生募集の取り組みなどを進め多くの方々のご支援をいただいた。

#### ① 日々の学びと学生の地域活動

介護福祉学科の教育課程は、厚生労働省が定める基準に依拠しており、履修しなければならない科目が多く、日々タイトなスケジュールのもとに学修は主に学内で進められるが、ゼミ活動などで学外での地域活動も展開した。

あるゼミでは、八戸市のブックスタート事業に参加して赤ちゃんに絵本の読み聞かせを行なった。参加した学生たちは、「読み聞かせはハードルが高く自信がなかったが、いざやってみるとうまくできて楽しかった」「赤ちゃんがかわいくて絵本で笑ってくれたのでまたやってみたい」等の感想を述べていた。若い父親・母親と子育てについて話をしたり、付き添いの兄弟にも読み聞かせたりし、学生自身にとって新たな体験となった。

地域活動論の授業では、青森県が実施している「他人を思いやりいのちを大切にすることを育む対話集会」（10月に県立七戸高校、11月に県立名久井農業高校で実施）に学生が参加し、高校生と地域住民が話し合うためのファシリテーターとなり、生徒の考え方や大人の思いをまとめる役割を担った。



ブックスタート事業での読み聞かせボランティア活動

#### ② 学生による授業以外での地域活動の展開

日々の授業以外にも、学外での活動を展開して地域とのつながりを図った。活動の一部を紹介する。

##### <流し踊りへの参加>

新型コロナウイルス感染症流行により中止されていた八戸の地域行事である流し踊りが、例年の実施方法を一部変更したものの3年ぶりに行われ、2年生が自主的に練習して参加するとともに学内のメインストリートでも踊りを披露し好評を得た。

<レクリエーション指導者養成の一環として>

7月に開催された、「東北復興支援”絆ウォーク”(約930km)」踏破イベントが八戸市でされた、学生4人がボランティアとして参加し、幅広い世代の来場者にレクリエーションの楽しさを伝えた。



東北復興支援“絆ウォーク”ゴール式典参加

### ③ 学園祭

はちがくフェスでは、学科企画として高齢者疑似体験とレクリエーションを企画実施した。高齢者疑似体験では、一般来場者に器具を装着のうえ「大変なこと」や「できないこと」等を実体験していただき、困っている高齢者を見かけた際には「どのように接すれば良いのか」を考えていただく機会とした。レクリエーションでは、「ビンボウリングとラダーゲッターで遊ぼう!」をテーマに、来場者同士楽しく交流する機会とした。運営にあたった学生達は、来場者に分かりやすく伝えることを意識して取り組んだことにより、日常の学びや知識の振り返りともなった。



学園祭における高齢者疑似体験

### ④ 介護実習

新型コロナウイルスの流行下ではあったが、介護事業所の協力と支援を受けながら、ほぼ予定通り実施され、介護福祉士として必要不可欠な実践的な学びを深めた。

介護実習は2年間の在学中に4期にわたって行われ、全ての実習を終えた2年生が、2月に開催された「介護実習事例研究報告会」において、受け持ち利用者について、支援上の課題分析、取り組み仮説の設定、取り組みと振り返りなどの事例発表を行なった。この報告会にはご指導をいただいた事業所の指導者の方々の他、系列校との連携の一環として、八戸学院光星高等学校の生徒の皆さんにもご参加いただいた。



⑤ 就職支援 介護実習事例研究報告会

介護福祉士国家試験に合格し、介護福祉専門職として就職することが学科での学びの基本的な目的であり、就職を希望する全ての学生が就職できるよう支援を行なった。2022年度は、7月に卒業生を招いて、1年生を対象に介護福祉の仕事の説明や就職活動などについて説明していただいた。また、2年生に対しては、ゼミ担当教員がカレッジアドバイザーとなり、就職活動を進めるために必要な、履歴書の書き方や面接練習などを個別的に支援した。2022年度卒業生も就職率100%を達成することができた。



卒業生による介護福祉の仕事説明会

### ⑥ 外国人留学生の受け入れ

新型コロナウイルスの流行により受け入れが困難となっていたが、2022年度には、ベトナムから1人の留学生を受け入れた。入国手続きの関係上、6月の来日となったが、早々に日本の生活に慣れ、介護福祉士資格を取得し卒業後に青森県内の事業所で働くことを目指し、日々勉学に励んでいる。また、地域の関係者(行政、介護事業者など)との連携のもと、2023年度の外国人留学生の受け入れに向けた取り組みを進め、新年度には9人の外国人留学生が入学する予定となっている。

### ⑦ 介護福祉士国家試験

介護福祉士国家資格の取得が学科としての学びの目標の一つである。1年次から資格取得に向けた学修が始まり、2年次には国家試験合格に向け対策講座や模擬試験を実施した。2023年1月末に実施された介護福祉士国家試験では、既卒者を含む全員が合格し合格率100%を達成した。学生の自主的な学びと教員のサポートが実を結んだ嬉しい結果となった。

### ⑧ 介護人材養成確保の取り組み

介護福祉士の養成を行っている教育機関への入学者数は、全国的に減少している。一方、介護福祉サービスの利用者は、高齢化の進行により増加傾向にあり、介護人材の不足が大きな社会課題となっている。こうした課題に対応することも介護福祉学科の役割と位置付け、2022年度から3か年間の予定で、青森県の地域医療介護総合確保基金からの助成をうけて、地域関係者(行政、教育関係者、介護事業者など)から構成される「プラットフォーム会議」を設置して介護人材確保に向けた協議を行っている。この会議での協議をもとに、広報活動(リーフレット作成配布、YouTubeによる広報など)、中高校生を対象とした出前事業の実施、訪問介護事業所における介護人材不足に関する調査研究などの事業を実施した。

---

## 八戸学院大学 令和4年度 入学式 式辞

---

八戸学院大学各学部新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。この春、八戸学院大学は、学部新入生として、285名、編入学・転入学生として6名、総数291名を新たに迎えることとなりました。八戸学院大学を代表して、これからの時代を支える皆さん、希望と様々な夢と熱き情熱に満ち溢れる若人を心から歓迎いたします。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止と皆さんの健康に配慮し、会場への参加制限や時間短縮等によりライブ中継をご覧いただいているご家族と関係者の皆様へも心よりお祝いを申し上げます。また、この入学式にご臨席を賜りましたご来賓の皆さまへ厚く御礼申し上げます。

八戸学院大学は、今から41年前、1981年に商学部としてスタートして以来、地域経済へ貢献する多くの人材を輩出してまいりました。この流れを受け継いでいるのが地域経営学部です。今年度、地域経営学部は91名の新入生を迎えます。地域社会の未来を描くことのできる力、地域の発展を支える担い手となる力を育てただけの事を期待いたします。

本学において、健康、スポーツ、福祉分野について専門性を高めるカリキュラムが設けられているのが人間健康学科と看護学科から構成される健康医療学部です。今年度、健康医療学部では194名の新入生を迎えます。運動・栄養・休養、さらに、看護・福祉などに関わる知識と技術を活かして人々の健康と日々の安心・安全な生活を支え自らが健康の主体として実践できる地域のリーダーが本学から生まれることを願っています。

本年度の学部新入生の中にはアフリカ・セネガル共和国出身の留学生が一人含まれています。言語、歴史や文化・習慣が異なる海外からの仲間と美保野のキャンパスで共に過ごすことにより、全ての在学生在が国際的な視野を持ち、多様な仲間と共存共生できる力量の醸成を期待しています。

これから始まるキャンパスライフの主人公は、光り輝く皆さん一人ひとりです。学科としての学問の探究のみに止まらず、課外でのスポーツ・文化芸術・ボランティア活動等に積極的に参加することで今までとは異なる世界が垣間見えて来ることに大きな期待が寄せられています。学科と課外の学生生活で何を掴んだか、未来のあなたが自信を持って仲間へ伝えることが出来る成果を少なくとも一つはしっかりと掴み取って下さい。

成人となる年齢を20歳から18歳に引き下げる改正民法が今月1日に施行されました。

成人となった18歳、19歳の皆さんにとって、規範に則った行動が一層求められる社会を迎えたことを一人ひとりが自覚してください。

結びに、皆さんの郷土となる八戸。この郷土・八戸を「愛する心」、そして共に過ごす仲間を「愛する心」、加えて、皆さん自身の無限の可能性に絶え間なく挑戦する「志」を育てて下さることに大きな期待を寄せて、式辞といたします。

令和4年4月6日

八戸学院大学 学長 水野真佐夫

---

## 八戸学院大学短期大学部 令和4年度 入学式 式辞

---

幼児保育学科94名、介護福祉学科21名の皆さん、ご入学おめでとうございます。教職員一同、皆さんの入学を心より歓迎いたします。本日別会場で参加いただいているご家族の皆様、また参加が叶わなかったご家族の皆様にも、謹んでお祝いを申し上げます。また、ご臨席賜りました来賓の皆さまに厚く御礼申し上げます。

本日入学された皆さんの多くは、新型コロナウイルス感染症の影響下に高校生活を送ってきました。日常生活に制約があり、思うように活動できないことも多かったことと思います。そのため、入学式を迎えても、中にはこれからの学生生活に明るい展望を持っていない人もいるのではないのでしょうか。

本学もむろん、その影響下に2年間を過ごしてきました。対面授業を継続し、現場での実習をやり遂げ、行事も工夫しながら実行しましたが、マスク着用といわゆる三密回避が合い言葉の日々でした。残念ながら、それはまだ終わりを告げていません。しかし、その中で改めて感じているのが、顔を合わせて言葉を交わすことの大切さです。

脳科学者の川島隆太氏によると、相手と共感しながらコミュニケーションをしているときは、脳活動がシンクロする現象が起きます。例えば、興味関心が似ている人たちが、対面で共通するテーマについて話していると、きれいなシンクロ現象が観察されます。ところが、オンラインで同じことをしても、そうした現象がまったく起きないそうです。つまり、オンラインの会話では情報が伝達され、一見話が盛り上がっていても、実は深いレベルでの共感が起きていない、心と心がつながっていないということになります。

先日行われた本学の卒業式で、代表学生が謝辞の中で次のように述べました。「私は、昼休みや放課後に友達と他愛のない話をして笑い合う時間が大好きでした。『一緒に頑張ろう』と励まし合い、実習も定期試験も乗り越えることができました。私はこの二年間で同じ目標に向かって共に成長するかけがえのない友達と出会うことができました」と。この言葉が、人々が集うことの大切さをすべて表していると私は思います。

マスクを外せる日はまだ遠いかもしれません。また、現

代社会において情報ツールの重要性は否定すべくもなく、ICTの技術は本学も積極的に取り入れていきます。しかし、同時に、学校としてそれ以上に大切にしたいのが、時間と空間をともし、心を通わせる関係性です。幼児保育と介護福祉は、どちらも共感性をベースにした専門性が求められる分野であり、皆さんは資質として高い共感性を備えていることと思います。これからの2年間、どうぞ集い語らう時間を大切に、たくさんの経験を共有しながら、それを専門性へと昇華させていただきたいと思えます。皆さんの大きな成長を願い、私の式辞といたします。

令和4年4月6日

八戸学院大学短期大学部 学長 杉山 幸子

---

### 八戸学院大学 令和4年度 学位記授与式 式辞

---

春の訪れを告げるこの良き日に、学位記授与式を迎えられました八戸学院大学の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

これまで長きにわたりご子弟に寄り添ってこられたご家族・ご親族の皆様へも心よりお祝いを申し上げます。

また、この学位記授与式にご臨席を賜りました八戸市長・熊谷雄一様をはじめ、ご来賓の皆様へ御礼を申し上げます。

本日、八戸学院大学は、地域経営学部地域経営学科から62名、健康医療学部人間健康学科からは84名、そして、看護学科からは55名、総数201名が、社会人として新たな一歩を、或いは、別科または大学院へ進学し、学びを深める一歩を踏み出します。

卒業生の皆さん、本日までの学生生活で、明日に輝く自分をとらえることができましたか？どのような思い出が、今、皆さんの心の中で蘇っているのでしょうか？皆さんの学生生活4年間の約3年あまりは新しい生活様式として様々な制限が求められたキャンパスライフでした。一方で、本学の建学の精神の下で学び、いよいよ卒業を迎えられた皆さんの多くの幅広い、豊かな経験が、人間力あふれる唯一無二の「光り輝く」卒業生一人ひとりを育てたものと、私は確信しています。

本日、皆さんのお手元へ届けられた卒業アルバムの中で、私はある言葉を引用いたしました。その言葉とは、「夢なき者に成功無し」というものです。これは、古く、明治維新に活躍した多くの若人を育てた吉田松陰の教えです。ここでいう「夢」とは、私利私欲、名誉名声のためではなく、高く掲げた志を意味します。様々な希望と熱き情熱に満ち溢れる皆さんのこれからの歩みにおいて、是非、心に留めていただきたい言葉です。

美保野から旅立つ皆さんのこれから始まる新たな人生において、本学の卒業生として、自らの未来を、家族の、職

場の、地域の行く末を思い、心の中にしっかりと、志を高々と掲げ、計画し、実行し、夢の実現に向けて、挑戦を続けてください。皆さん一人ひとりが人生の成功者となることを、私は強く信じています。

結びに、皆さんのキャンパスライフに日々寄り添った本学の教職員と共に、そして、同じ美保野のキャンパスで学んできた短期大学の卒業生の皆さんと一緒に、本学・学位記授与式を挙行できますことは私の大きな喜びであることを申し添えて式辞といたします。

令和5年3月20日

八戸学院大学 学長 水野眞佐夫

---

### 八戸学院大学短期大学部 令和4年度 学位記授与式 式辞

---

幼児保育学科83名、介護福祉学科11名の皆さん ご卒業おめでとうございます。ここ北東北の地においても春の日差しが日一日と輝きを増し、地面には野の花が少しずつ彩りを添えています。長い冬を乗り越えて訪れたこの良き季節に、皆さんの旅立ちを祝うことが叶い、教職員一同大きな喜びに包まれております。とりわけ、皆さんの若々しく晴れやかな顔をこうして直に見つめることが叶ったのは、感に堪えません。ここにご列席いただきましたご家族の皆様、また本日までご参加が叶わなかった方々にも心よりお祝いを申し上げますとともに、これまでのご支援に対して厚く御礼申し上げます。

短期大学でのこの2年間は、皆さんにとってどのような日々だったでしょうか。諸々の制限があり、授業にしても実習にしても、急な待機や中断に振り回されることの多い日々だったのは間違いないでしょう。私は昨年この式典で、卒業生代表の学生が述べた言葉が忘れられません。彼女は、通常1年生で経験する見学実習や一日実習がないままに本実習に臨んだ際の不安な気持ちや、そうした経験を乗り越える支えとなった目的を共にする友人の存在、そして、友人と笑い合う何気ない時間の貴重さについて語りました。

私たち教員は、直接に人と関わり交わりながら学ぶことの大切さを十分に認識しているつもりでしたが、たった一つの経験の欠如が学生に投げかける影響の大きさには、思いが及んでいなかったように思います。それからの1年間、制約はあっても、なるべく多くの生の経験を皆さんにしてもらおうように努めてきました。思うようにならないこともありましたが、皆さんは持ち前の柔軟性とコミュニケーション力でよく乗り越えてきたと思います。そうした日々の中で、友人と笑い合う時間をたくさん持ち、そして、それぞれが目指す目的を達成できたなら、教員としてこれに勝る喜びはありません。

幼児保育学科でも介護福祉学科でも、学生の皆さんと接していつも感じるのは、人と繋がる力の豊かさです。これは素晴らしい力です。少し古い統計になりますが、世界38カ国の調査によると、日本は先進国の中で一番社会的に孤立している、つまり、家族や友人や同僚との親密な関係の乏しい人が多い国だそうです。東日本大震災の後で、人との繋がりを求める風潮が強くなったと言われましたが、昨今の報道を見ると、コロナ禍は残念ながら、それとは逆の方向に働いているようです。

この原因は日本人が自分の楽しみ、自分の自由、自分の幸せだけを追求するようになったことにあると、児童精神科医の故佐々木正美先生は言います。しかし、「人は人間関係の中に自分の価値や意味を知る」と言われるように、自分を認め信頼してくれる他者の存在なしに、人は成長することも幸福になることもできません。保育や介護という仕事は、子どもや利用者にとってのそうした存在になることだと思います。同時に、皆さん自身も自分が関わる相手から信頼されることで、これから人として大きく成長していくことでしょう。

皆さんの今後の活躍に期待し、前途に幸多からんことを祈ります。

令和5年3月20日

八戸学院大学短期大学部 学長 杉山 幸子

---

## 会 議

---

### ①大学運営会議開催

令和4年	4月20日(水)	5月18日(水)	6月15日(水)	
	7月20日(水)	9月16日(金)	10月19日(水)	
	11月16日(水)	12月13日(火)		
令和5年	1月18日(水)	2月15日(水)	3月15日(水)	

### ②教授会開催

[大学]

#### ○全学教授会

令和4年	4月1日(金)	4月27日(水)	5月25日(水)	
	5月31日(火)	6月22日(水)	7月27日(水)	
	9月28日(水)	10月12日(水)	10月26日(水)	
	11月22日(火)	12月14日(水)		
令和5年	1月25日(水)	2月22日(水)	2月28日(火)	
	3月22日(水)			

[短期大学部]

#### ○全学教授会

令和4年	4月1日(金)	4月28日(水)	5月26日(水)	
	6月23日(水)	7月28日(水)	9月29日(水)	
	10月27日(水)	11月24日(水)	12月15日(水)	
	1月26日(水)			
令和5年	2月24日(金)	2月28日(火)	3月23日(水)	

---

## 人 事

---

### (1) 採用

令和4年4月1日付

#### ○健康医療学部人間健康学科

教 授 野 寺 和 彦

#### ○健康医療学部看護学科

講 師 西 川 健

助 手 田 中 祐 太

#### ○事務局

主 事 駒 目 亜 衣(健康管理局/短大保健室)

令和4年7月1日付

#### ○事務局

舎 監 中 村 健 (学務部キャリア支援課)

令和4年8月1日付

#### ○健康医療学部看護学科

助 教 足 澤 ちか子

令和4年9月1日付

#### ○短期大学部介護福祉学科

特任教授 柏 葉 英 美

#### ○地域連携研究センター

講 師 川 守 田 景 子

### (2) 昇任

令和4年4月1日付

#### ○地域経営学部地域経営学科

教 授 木 村 浩 哉

教 授 G. アンソニー

○健康医療学部看護学科

准教授 坂本 弘子  
准教授 切明 美保子  
講師 佐々木 真湖  
助教 田向 たまき  
助教 堺 香奈子  
助教 前森 桃子

○介護福祉学科

教授 小川 あゆみ  
講師 岩館 亜沙美  
講師 鈴木 絵美

○事務局

課長補佐 三田 和典  
係長 金田一 春香  
係長 河村 千代美  
係長 玉川 哲也  
主事 力石 暁

(3) 併任・兼務

令和4年4月1日付

○大学学長

教授 水野 眞佐夫 健康医療学部長

○地域経営学部地域経営学科

教授 田中 哲 八戸学院大学学長補佐  
特任教授 一戸 利則 八戸学院大学学長補佐  
教授 村本 卓 地域経営学部長  
教授 高須 則行 地域経営学科長

○健康医療学部人間健康学科

教授 遠藤 守人 八戸学院健康管理局長  
教授 吉田 守実 人間健康学科長

○健康医療学部看護学科

教授 高橋 雪子 看護学科長  
教授 田中 克枝 看護学科学科長補佐

○短期大学部学長

教授 杉山 幸子 八戸学院幼稚園長

○短期大学部幼児保育学科

准教授 加藤 康子  
八戸学院大学短期大学部学長補佐  
教授 加藤 勝弘 幼児保育学科長

○短期大学部介護福祉学科

教授 赤羽 卓朗 介護福祉学科長  
教授 小川 あゆみ 介護福祉学科長補佐

○地域連携研究センター

准教授 楊 麗栄  
八戸学院国際教育局 副局長

○事務局

学務部参事 正村 公弘  
八戸学院スポーツ局 副局長  
学務課長 納谷 司  
短期大学部事務室長／大学評価支援室員  
学務部参事 工藤 美那子  
大学評価支援室長／監査室員  
主任 橘 佳奈美 大学評価支援室員  
主事 力石 暁 志鍊館舎監

令和4年5月27日付

○健康医療学部人間健康学科

教授 遠藤 守人 理事長補佐

令和4年6月1日付

○健康医療学部人間健康学科

教授 小澤 昭夫 学長特別補佐

(4) 配置転換

令和4年4月1日付

○事務局

係長 坂野 仁志  
(キャリア支援課から教務学生課へ)  
係長 玉川 哲也  
(教務学生課からキャリア支援課へ)

(5) 転出

令和4年4月1日付

○事務局 次長・課長 藤原 真史 (総務部へ)

(6) 退職

令和5年3月31日付

○地域経営学部地域経営学科

教授 丹羽 浩正  
教授 長谷川 美千留

○健康医療学部人間健康学科

教授 小林 喜輝  
教授 野寺 和彦  
准教授 井川 昭弘  
講師 佐貫 綾乃

○健康医療学部看護学科

教授 川野 恵智子  
助教 田向 たまき

○幼児保育学科

教授 加藤 勝弘  
准教授 佐貫 巧

○介護福祉学科

教授 赤羽 卓朗

○地域連携研究センター

講師 安田 美央

○事務局

参事 田頭 寛  
主事 原子内 まさ子  
主事 駒目 亜衣

(7) 客員教授

[大学]

令和4年4月1日付

◎客員教授

三宅 良彦 (聖マリアンナ医科大学名誉教授・副理事長)  
吉田 稔 (東京純心女子大学教授)  
玉樹 真一郎 (わかる事務所代表)

[短大]

◎客員教授

三村 三千代

令和4年7月1日付

[短大]

◎客員教授

柏葉 英美 (8月31日まで)

組 織

■組織

〔大学〕

学 長 水野眞佐夫  
 運営会議議長 水野眞佐夫  
 学 長 補 佐 田 中 哲 一 戸 利 則  
 学 長 特 別 補 佐 小 澤 昭 夫 (令和4年6月から)  
 地域経営学部長 小 村 本 卓  
 地域経営学科長 高 須 則 行  
 健康医療学部長 水 野 眞 佐 夫  
 人間健康学科長 吉 田 守 実  
 看護学科長 高 橋 雪 子  
 看護学科長補佐 田 中 克 枝

〔短期大学部〕

学 長 杉 山 幸 子  
 学 長 補 佐 加 藤 康 子  
 幼児保育学科長 加 藤 勝 弘  
 介護福祉学科長 赤 羽 卓 朗  
 介護福祉学科長補佐 小 川 あゆみ

◎学長方針PJT

○情報交換会

水野眞佐夫 杉 山 幸 子  
 田 中 哲 一 戸 利 則  
 村 本 卓 高 須 則 行  
 吉 田 守 実 高 橋 雪 子  
 加 藤 康 子 加 藤 勝 弘  
 赤 羽 卓 朗

○建学の精神PJT

○教育DX PJT

責 任 者 坂 本 貴 博  
 担 当 村 本 卓 馬 場 祥 次  
 有 光 琢 磨 川 野 恵 智 子  
 池 田 拓 馬 高 橋 英 成

◎委員会

○入学者選抜委員会

委 員 長 田 中 哲 子  
 副 委 員 長 加 藤 康 子  
 委 員 水 野 眞 佐 夫 杉 山 幸 子  
 一 戸 利 則 行 子 村 本 卓 実 弘  
 高 須 則 行 子 吉 田 守 勝 弘  
 高 橋 雪 子 朗 加 藤 本 貴 博  
 赤 羽 卓 朗 伸 樹 恵 三 浦 文 恵

○学費等減免選考委員会

委 員 長 田 中 哲 子  
 委 員 水 野 眞 佐 夫 杉 山 幸 子  
 村 本 卓 高 須 則 行 子  
 吉 田 守 実 弘 高 橋 雪 子  
 加 藤 勝 弘 赤 羽 卓 朗

坂 本 貴 博 加 来 聡 伸  
 差 波 直 樹 三 浦 文 恵

○教育ローン利子補給奨学金審査委員会

委 員 長 水 野 眞 佐 夫  
 委 員 村 本 卓 高 須 則 行  
 吉 田 守 実 高 橋 雪 子  
 加 藤 勝 弘 赤 羽 卓 朗  
 坂 本 貴 博

○IR・EM委員会

委 員 長 村 本 卓  
 副 委 員 長 野 口 和 也  
 委 員 田 村 正文 千 葉 啓 子  
 米 田 政 葉 中 克 枝  
 高 橋 英 成

○自己点検評価委員会

委 員 長 村 本 卓  
 〔大学〕  
 副 委 員 長 幸 田 威 久 矢  
 委 員 高 須 則 行 子 吉 田 守 実  
 高 橋 雪 子 小 林 喜 輝  
 井 元 紀 子 小 沢 久 美 子

〔短期大学部〕

副 委 員 長 吹 越 義 博  
 委 員 加 藤 康 英 成 鳴 海 孝 彦

○学生相談・特別支援室

室 長 木 村 緑  
 副 室 長 野 口 和 也  
 室 員 木 村 浩 哉 子 金 地 美 知 彦  
 宮 澤 君 子 小 山 田 啓 子

○研究倫理委員会

委 員 長 奈 良 卓  
 副 委 員 長 熊 谷 晶 子  
 委 員 崔 桓 碩 千 葉 啓 子  
 高 橋 正 知 野 口 和 也

○教務委員会

〔大学〕

委 員 長 加 来 聡 伸  
 副 委 員 長 金 地 美 知 彦  
 委 員 田 村 正 文 崔 桓 碩  
 横 田 将 志 大 木 えりか  
 泉 水 朝 宏 小 沢 久 美 子  
 坂 本 弘 子 小 溝 江 弓 恵  
 古 館 美 喜 子 西 川 健 哉  
 ・ 教職課程担当 根 城 隆 幸 西 木 村 浩 哉  
 大 沢 宥 介 小 林 喜 輝  
 渡 邊 陵 由 浜 中 水 朝 子  
 佐 貫 綾 乃 泉 朝 宏  
 野 寺 和 彦

〔短期大学部〕

委 員 長 三 浦 文 恵  
 副 委 員 長 池 田 拓 馬  
 委 員 澤 井 睦 美 弘  
 鈴 木 康 弘 吹 越 義 博  
 小 川 あゆみ

鈴木 絵美  
 ○ファカルティ・ディベロップメント(FD)委員会  
 委員長 井元 紀子  
 副委員長 池田 拓馬  
 委員 G・アンソニー 井上 丹  
 井川 昭弘 田中 克枝  
 藤邊 祐子 西川 健  
 高橋 英成

○学生委員会  
 [大学]  
 委員長 坂本 貴博  
 副委員長 佐貫 綾乃  
 委員 G・アンソニー 井上 丹  
 大木 えりか 有光 琢磨  
 坂本 保子 切明 美保子  
 田向 たまき  
 足澤 ちか子(令和4年9月から)

[短期大学部]  
 委員長 差波 直樹  
 副委員長 岩館 亜沙美  
 委員 本吉 好 橋本 知子

○広報委員会  
 委員長 山本 雄大  
 副委員長 小川 あゆみ  
 委員 幸田 威久矢 横田 将志  
 大沢 宥介 浜中 のり子  
 工藤 祐太郎 壬生 寿子  
 久保 宣子 堺 香奈子  
 佐貫 巧 本吉 好  
 鈴木 絵美

○入学試験運営委員会  
 委員長 馬場 祥次  
 副委員長 中嶋 栄子  
 委員 田村 正文 幸田 威久矢  
 大沢 宥介 山本 雄大  
 金地 美知彦 米田 政葉  
 市川 裕美子 三浦 広美  
 鈴木 康弘 岩館 亜沙美

○就職支援委員会  
 [大学]  
 委員長 長谷川 美千留  
 副委員長 川野 恵智子  
 委員 柴垣 博孝 井上 丹  
 佐藤 千恵子 宮澤 君子  
 佐々木 真湖 田中 祐太  
 [短期大学部]  
 委員長 天摩 雅和  
 副委員長 小山田 啓子  
 委員 田中 敬一 橋本 知子  
 坂本 利枝子

○国際交流・留学生支援委員会  
 委員長 柴垣 博孝  
 副委員長 横田 将志 三浦 文恵  
 委員 B. グロスマン G. アンソニー

崔 桓 碩 渡 邊 陵 由  
 井 川 昭 壬 生 寿 子  
 藤 邊 祐 坂 本 利 枝 子  
 地域連携研究センター 楊 麗 安 田 美 央  
 中 村 蘭

○図書館  
 館長 奈良 卓  
 副館長 田中 敬一

○図書委員会  
 委員長 奈良 卓  
 副委員長 中嶋 栄子  
 委員 B. グロスマン 熊谷 晶子  
 小澤 昭夫 切明 美保子  
 堺 香奈子

○地域連携研究センター  
 センター長 堤 静子  
 副センター長 加藤 康子

○地域連携研究センター運営委員会  
 委員 木村 浩哉 大沢 宥介  
 佐藤 千恵子 工藤 祐太郎  
 田中 克枝 差波 直樹  
 佐貫 巧 鳴海 孝彦  
 地域連携研究センター 楊 麗 安 田 美 央  
 中 村 蘭 川守田 景子  
 (令和4年9月から)

[法人]  
 ○スポーツ局  
 局長 法 官 新 一  
 ○健康管理局  
 局長 遠 藤 守 人

## 規 程

令和4年4月1日から令和5年3月31日までの間に、次の規程が制定・一部改正・廃止された。

<制 定>

令和4年7月8日施行

○八戸学院サテライトキャンパス利用規程

令和5年4月1日施行

○八戸学院大学別科助産専攻規程

○八戸学院大学懲戒処分について（内規）

<一部改正>

令和4年4月1日施行

○八戸学院大学学則

○八戸学院大学短期大学部学則

○八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部国際交流・留学生支援委員会規程

○八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部自己点検評価委員会規程

○八戸学院大学教員採用・昇任規程

○八戸学院大学短期大学部教員採用・昇任規程

○八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部学内ワークスタディ規程

○八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部大学評価に関する規程

○八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部利益相反規程

○八戸学院大学防火管理規程

○八戸学院大学短期大学部防火管理規程

○八戸学院大学短期大学部専任教員研究経費助成金取扱規程

○八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部における修業年限を超えて在学する者の学費納入規程

○八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部車両通学規程

○八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部車両通学規程違反の措置に関する内規

○八戸学院大学履修規程

○八戸学院大学短期大学部試験規程

○八戸学院大学短期大学部学生通則

○八戸学院大学短期大学部懲戒処分について（内規）

○八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部外国人留学生学納金等減免規程

○八戸学院大学短期大学部学業特待生規程

○八戸学院大学短期大学部創造育成特待生規程

○八戸学院大学短期大学部光星学院系列高等学校関係奨学等に関する内規

○八戸学院図書館規程

○八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部紀要執筆要領

○八戸学院大学短期大学部後援会特別助成に係る学内選考規程

○八戸学院大学短期大学部後援会特別助成にかかる研究計画の公募要項

令和4年9月1日施行

○八戸学院大学学業特待生規程

○八戸学院大学創造育成特待生規程

○八戸学院大学修学奨励生規程

○八戸学院大学授業料等減免規程

○八戸学院大学短期大学部学業特待生規程

○八戸学院大学短期大学部創造育成特待生規程

○八戸学院大学短期大学部修学奨励生規程

○八戸学院大学短期大学部授業料等減免規程

令和5年4月1日施行

○八戸学院大学学則

○八戸学院大学短期大学部学則

○八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部運営会議規程

○八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部入学者選抜委員会規程

○八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部 I R 推進室規程

○八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部教員人事考課規程

○八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部学内ワークスタディ規程

○八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部学部（学科）長選考規程

○八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部利益相反規程

○八戸学院大学防火管理規程

○八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部学外共同研究規程

○八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部学費納付規程

○八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部における修業年限を超えて在学する者の学費納入規程

○八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部障害学生学費支援規程

○八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部グレード・ポイント・アベレージ（GPA）規程

○八戸学院大学履修規程

○八戸学院大学教職課程履修規程

○八戸学院大学短期大学部履修規程

○八戸学院大学短期大学部試験規程

○八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部教育ローン利子補給奨学金規程

○八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部外国人留学生学納金等減免規程

○八戸学院大学学業特待生規程

○八戸学院大学創造育成特待生規程

○八戸学院大学修学奨励生規程

○八戸学院大学授業料等減免規程

○八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部学生相談・特別支援室規程

○八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部紀要執筆要領

<廃 止>

令和4年3月31日

○八戸学院大学短期大学部自己点検評価委員会規程

令和4年6月15日

○八戸学院まちなかラボ利用規則

## 諸 報

### (1) 令和4年度入学式

令和4年度入学式が、令和4年4月6日(水)11時から、八戸学院総合体育館において挙行されました。地域経営学科入学生94名(編入学生1名含む)、人間健康学科入学生124名、看護学科入学生73名(編入学生1名含む)、幼児保育学科入学生94名、介護福祉学科入学生21名の入学が許可されました。

### (2) 令和4年度学位記授与式

令和4年度学位記授与式が、令和5年3月20日(月)14時から、八戸市公会堂において挙行されました。地域経営学科卒業生63名、人間健康学科卒業生84名、看護学科卒業生56名、幼児保育学科卒業生83名、介護福祉学科卒業生11名に学位記が授与されました。

### (3) 外郭諸団体の会議(後援会・同窓会・父母の会)

[大学]

- ・後援会令和3年度会計監査  
令和4年6月14日(火)
- ・同窓会令和3年度会計監査  
令和4年6月9日(木)
- ・父母の会令和3年度会計監査  
令和4年6月7日(火)
- ・後援会常任理事会  
令和4年6月29日(水)
- ・後援会理事会  
令和4年11月30日(水) 書面決議
- ・同窓会役員会  
令和4年6月14日(火)
- ・同窓会評議員会  
令和4年11月30日(水) 書面決議
- ・父母の会役員会  
令和4年7月6日(水)
- ・父母の会総会  
令和4年9月22日(木) 書面決議
- ・八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部外郭三団体合同懇談会

令和5年3月6日(月) 八戸プラザホテル

[短期大学部]

- ・後援会令和3年度会計監査  
令和4年4月26日(火) 八戸学院大学短期大学部幼児保育学科棟121講義室
- ・後援会常任理事会  
令和4年6月17日(金) 八戸プラザホテル
- ・後援会理事会  
令和4年6月17日(金) 書面決議
- ・同窓会令和3年度会計監査  
令和4年4月26日(火) 八戸学院大学短期大学部幼児保育学科棟121講義室
- ・同窓会理事会  
令和4年7月1日(金) 八戸プラザホテル

- ・同窓会第49回総会  
令和4年8月19日(金) 書面決議
- ・父母の会令和3年度会計監査  
令和4年4月26日(火) 八戸学院大学短期大学部幼児保育学科棟121講義室
- ・父母の会役員会  
令和4年8月19日(金) 書面決議
- ・父母の会総会  
令和4年8月19日(金) 書面決議
- ・父母の会学業相談・保護者面談会  
令和4年10月1日(土) 八戸学院大学短期大学部幼児保育学科棟および9号館
- ・八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部外郭三団体合同懇談会  
令和5年3月6日(月) 八戸プラザホテル

### (4) 庶務日誌摘録

○入学者選抜委員会

- 第1回 令和4年10月18日(火)
- 第2回 令和4年11月25日(金)
- 第3回 令和4年12月20日(火)
- 第4回 令和5年2月14日(火)
- 第5回 令和5年3月1日(水)
- 第6回 令和5年3月14日(火)

### (5) IR・EM委員会

①事業内容

- ティーチングポートフォリオ継続実施
- ルーブリック評価継続実施
- 卒業時アンケート継続実施
- アセスメントポリシー推進

②庶務日誌摘録

- IR・EM委員会会議  
令和4年4月19日(火)

### (6) 自己点検評価委員会

[大学]

- ①「令和3年度八戸学院大学自己点検評価書」発行  
・令和4年9月
  - ②大学と短大の相互評価実施
  - ③庶務日誌摘録
    - 自己点検評価委員会会議  
令和4年 5月9日(月) 5月16日(月) 5月23日(月)  
5月30日(月) 6月6日(月) 6月13日(月)  
6月20日(月) 10月7日(金) 大学・短大合同
- [短期大学部]
- ①「令和3年度八戸学院大学短期大学部自己点検評価書」発行  
・令和4年9月
  - ②大学と短大の相互評価実施
  - ③庶務日誌摘録
    - 自己点検評価委員会会議  
令和4年 4月25日(月) 5月10日(火) 5月16日(月)  
5月24日(火) 5月31日(火) 6月7日(火)

6月29日(火) 7月5日(火)  
10月7日(火) 大学・短大合同

## (7) 学生相談・特別支援室

### ①学内研修会

・令和4年度学生相談・特別支援室学内研修会  
(八戸学院大学)

テーマ：障害のある学生に対する合理的配慮の考えかた

講師：八戸学院大学 健康医療学部看護学科  
准教授 木村 緑氏

開催日：令和4年11月28日(月)

場所：大学5号館520講義室(オンライン・オンデマ  
ンド対応)

(八戸学院大学短期大学部)

テーマ：障害のある学生に対する合理的配慮の考えかた

講師：八戸学院大学短期大学部 幼児保育学科  
教授 野口 和也氏

開催日：令和4年12月1日(木)

場所：八戸学院大学短期大学部211講義室(オンライ  
ン・オンデマンド対応)

### ②学外研修会

・「令和4年度 心の問題と成長支援ワークショップ」への  
参加

開催日：令和4年8月22日(月)～23日(火)

開催方式：オンライン(新型コロナウイルス感染症拡大  
防止のため)

参加者：駒目 亜衣(学生相談・特別支援室員)

・「第60回 全国学生相談研修会」

開催日：令和4年11月20日(日)～21日(月)

開催方式：オンライン(新型コロナウイルス感染症拡大  
防止のため)

参加者：金地 美知彦(学生相談・特別支援室員)

・「令和4年度 学生生活にかかる喫緊の課題に関するセミ  
ナー」

開催日：令和4年12月8日(木)

開催方式：オンライン(新型コロナウイルス感染症拡大  
防止のため)

参加者：畠山 文絵(学生相談・特別支援室担当事務)

・「第3回 大学保健管理部門 マネジメントセミナー」

開催日：令和5年2月18日(土)

開催方式：オンライン(新型コロナウイルス感染症拡大  
防止のため)

参加者：木村 緑(学生相談・特別支援室長)

### ③庶務日誌摘録

第1回 令和4年4月11日(月)

第2回 令和4年5月9日(月)

第3回 令和4年6月6日(月)

第4回 令和4年7月4日(月)

第5回 令和4年10月3日(月)

第6回 令和4年11月7日(月)

第7回 令和5年2月6日(月)

第8回 令和5年3月6日(月)

## (8) 研究倫理委員会

○第1回委員会(令和4年6月27日(月)開催)

申請6件(承認6件)

・「東北地方に住む中学生の抑うつ状況とストレスコーピ  
ングの関連の検討」

(研究責任者：八戸学院大学 健康医療学部人間健康学  
科 米田政葉 助教)

・「味の好みとパーソナリティの関連について」

(研究責任者：八戸学院大学 健康医療学部人間健康学  
科 山本雄大 准教授)

・「A圏域で完結する摂食嚥下ケア -システム構築のア  
クションリサーチ-」

(研究責任者：八戸学院大学 健康医療学部看護学科  
川野恵智子 教授)

・「高齢者の排泄援助の演習プログラムの学習効果」

(研究責任者：八戸学院大学 健康医療学部看護学科  
切明美保子 准教授)

・「母性看護の沐浴演習・実習におけるルーブリック評価  
の作成過程と課題」

(研究責任者：八戸学院大学 健康医療学部看護学科  
堺香奈子 助教)

・「多文化共生社会の実現に向けて音楽が果たせる役割に  
ついての研究」

(研究責任者：八戸学院地域連携研究センター 安田美  
央 講師)

○第2回委員会(令和4年10月24日(月)開催)

申請9件(承認9件)

・「クラウチングスタートにおけるメディシンボール投げ  
トレーニングの有効性」

(研究責任者：八戸学院大学 健康医療学部人間健康学  
科 泉水朝宏 助教)

・「A県内のがん疼痛への看護ケアの実践状況」

(研究責任者：八戸学院大学 健康医療学部看護学科  
市川裕美子 准教授)

・「看護学生の社会人基礎力の自己評価の比較 - 新型コロ  
ナウイルス感染症流行前後の比較 - 」

(研究責任者：八戸学院大学 健康医療学部看護学科  
佐々木真湖 講師)

・「災害時の福祉支援体制の整備にかかる研修体系に関す  
る調査」

(研究責任者：八戸学院大学短期大学部 介護福祉学科  
鳴海孝彦 准教授)

・「訪問介護事業における人材不足に関する調査研究 - 八  
戸市内の事業者を対象に - 」

(研究責任者：八戸学院大学短期大学部 介護福祉学科  
岩館亜沙美 講師)

・「介護の仕事に対する高校生の意識に関する調査研究」

(研究責任者：八戸学院大学短期大学部 介護福祉学科  
岩館亜沙美 講師)

・「医療現場における外国人の異文化間看護を取り巻く現  
状と課題」

(研究責任者：八戸学院地域連携研究センター 楊麗栄  
准教授)

・「コロナ禍における統合看護実習 複数患者受け持ちの

行動計画立案演習における教育用電子カルテシステム活用の評価]

(研究責任者：八戸学院大学 健康医療学部看護学科 川野恵智子 教授)

・「清潔な環境づくりの定着支援に関する研究 その2 - 「見える化」で衛生管理水準の底上げをサポートする取り組み」

(研究責任者：八戸学院大学 健康医療学部人間健康学科 千葉啓子 教授)

## (9) 教務委員会

### ①各賞受賞者(令和4年度卒業生)

[大学]

〈学長賞〉

- ・岡村 智 優 (地域経営学部地域経営学科)
- ・沼畑 瑠 菜 (健康医療学部人間健康学科)
- ・土岐 笑 香 (健康医療学部看護学科)

〈優等賞〉

- ・小川 文 香 (地域経営学部地域経営学科)
- ・清水 悠 (地域経営学部地域経営学科)
- ・稲垣 有 奈 (健康医療学部人間健康学科)
- ・小澤 萌 花 (健康医療学部人間健康学科)
- ・別府 優 菜 (健康医療学部看護学科)
- ・上野 智 宥 (健康医療学部看護学科)

〈(一社)日本ソーシャルワーク教育学校連盟優秀者表彰〉

- ・濱浦 良 野 (健康医療学部人間健康学科)

〈(一社)日本私立看護系大学協会会長賞〉

- ・佐藤 菜々子 (健康医療学部看護学科)

[短期大学部]

〈学長賞〉

- ・榎本 圭 子 (幼児保育学科)
- ・宮崎 優 香 (介護福祉学科)

〈優等賞〉

- ・伊藤 美 緒 (幼児保育学科)
- ・宗前 亜紀子 (幼児保育学科)
- ・金子 拓 真 (介護福祉学科)
- ・田嶋 美 玖 (介護福祉学科)

〈(一社)全国保育士養成協議会会長賞〉

- ・番沢 彩 音 (幼児保育学科)

〈(公社)日本介護福祉士養成施設協会会長賞〉

- ・趙 彩 云 (介護福祉学科)

〈(公財)日本レクリエーション協会レクリエーション公認指導者養成課程認定校優秀学生〉

- ・田嶋 美 玖 (介護福祉学科)

### ②教員免許状等取得者

[大学]

中学校教諭一種免許(保健体育) 14名  
高等学校教諭一種免許(保健体育) 24名  
養護教諭一種免許 24名

[短期大学部]

幼稚園教諭二種免許 74名  
保育士 75名

### ③集中講義の実施状況<日程・科目名(担当教員)>

《春学期》

8月3日(水)～8月5日(金)、8月22日(月)～8月24日(水)  
水泳(下田 尋通、関下 りち子、妻神 安隆)

8月18日(水)～8月23日(火)

流通経済学(中居 裕)

スポーツ心理学(粟木 一博)

8月24日(水)～8月29日(月)

地域経営学特殊講義Ⅱ(加来 聡伸)

地域経営学特殊講義Ⅲ(井上 丹)

地域イノベーション・マネジメント(堤 静子)

スケート(田名部 和彦)

8月29日(月)～8月30日(火)

災害看護活動論(坂本 弘子)

8月30日(火)～9月2日(金)

行動の科学(石岡 れい子)

教育原理(原 圭寛)

《秋学期》

1月6日(金)～1月11日(水)

中小企業・ベンチャー企業論(堤 静子)

海外事情(タイ文化)(横田 将志)

1月10日(火)～1月11日(水)、2月1日(水)～2月3日(金)

認知心理学(佐藤 手織)

1月31日(火)～2月2日(木)

スキー(渡邊 陵由、工藤 祐太郎、有光 琢磨、泉水 朝宏)

1月31日(火)～2月3日(金)

市民社会論(横田 将志)

2月6日(月)～2月9日(木)

国際関係論(横田 将志)

児童心理学(坂本 玲子)

2月6日(月)～2月10日(金)

薬理概論(寺田 淳)

2月16日(水)～2月21日(火)

ヘルスカウンセリング(瀧澤 志穂)

### ④学外会議

・第71回東北・北海道地区大学等高等・共通教育研究会

開催日：令和4年9月1日(木)、2日(金)

場 所：岩手大学(ハイフレックス方式開催)

出席者：村本 卓(地域経営学部地域経営学科 学部長・教授)

田村 正文(地域経営学部地域経営学科 教授)

加来 聡伸(地域経営学部地域経営学科 准教授)

### ⑤庶務日誌摘録

[大学]

令和4年 4月13日(水) 5月11日(水) 6月8日(水)

7月13日(水) 9月14日(水) 10月12日(水)

11月9日(水) 12月7日(水)

令和5年 1月11日(水) 2月8日(水) 2月22日(水)

3月8日(水)

[短期大学部]

令和4年 4月12日(火) 5月10日(火) 6月2日(木)

7月4日(月) 9月1日(木) 10月14日(金)

11月4日(金) 12月1日(木)

令和5年 1月6日(金) 2月2日(木) 2月24日(金)

3月3日(金)

## (10) ファカルティ・デベロップメント(FD) 委員会

### ①学外会議

- ・第29回FDネットワーク“つばさ”FD協議会

開催日：令和4年6月28日(火)

※Zoomによるオンライン開催

出席者：井元 紀子（八戸学院大学健康医療学部人間健康学科 教授）

### ②実施事業（学内研修会・公開授業等）

- ・新任教員向けはちがくキャンパスWeb研修会

開催日：令和4年4月20日(水)

会 場：7号館3階731教室

講 師：馬場 祥次（八戸学院大学地域経営学部地域経営学科 准教授）

参加者：6名（うち新任教員1名）

- ・2022年度FD研修会

開催日：令和4年9月22日(木)

会 場：5号館2階520教室

講 師：井上 丹（八戸学院大学地域経営学部地域経営学科 講師）

参加者：大学・短大教員 94名

- ・公開授業

#### ①講義日：令和4年10月28日(金)3時限目

※オンライン配信（録画配信あり）

科目名：デザイン実習（Aクラス）

講 師：坂本 貴博（八戸学院大学地域経営学部地域経営学科 教授）

#### ②講義日：令和4年10月31日(月)3時限目

※録画配信のみ

科目名：回復促進援助論（Bクラス）

講 師：久保 宣子（八戸学院大学健康医療学部看護学科 講師）

#### ③講義日：令和4年11月29日(火)4時限目

※対面実施（録画配信あり）

科目名：幼児美術Ⅱ（Bクラス）

講 師：佐貫 巧（八戸学院大学短期大学部幼児保育学科 准教授）

### 庶務日誌摘録

令和4年 4月21日(木) 5月19日(木) 6月16日(木)

7月21日(木) 9月15日(木) 10月20日(木)

11月17日(木)

令和5年 1月19日(木) 2月16日(木)

## (11) 学生委員会

[大学学生委員会]

委員長 坂本貴博

副委員長 佐貫綾乃

委員 グレゴリー・アンソニー 井上 丹

大木えりか 有光 琢磨 坂本 保子

切明美保子 田向たまき 足澤ちか子

学生委員会庶務日誌摘録

第1回 令和4年4月11日(月)

第2回 令和4年5月9日(月)

第3回 令和4年6月13日(月)

第4回 令和4年7月11日(月)

第5回 令和4年9月12日(月)

第6回 令和4年10月11日(火)

第7回 令和4年11月8日(火)

第8回 令和4年12月5日(月)

第9回 令和5年1月16日(月)

第10回 令和5年2月6日(月)

第11回 令和5年3月6日(月)

### ①学生委員会学外会議

なし

### ②学生委員会学内行事

- ・令和4年度定期健康診断

開催日：令和4年4月4日(月)、20日(水)、21日(木)、22日(金)、26日(火)

場 所：八戸市総合健診センター

受診者：955名

- ・令和4年度日本学生支援機構奨学金「予約採用説明会」

開催日：令和4年4月5日(火)

場 所：520講義室

- ・令和4年度日本学生支援機構奨学金「在学採用新規申込説明会」

開催日：令和4年4月12日(木)～15日(金)

場 所：520講義室

- ・令和4年度第1回交通安全講習会

開催日：令和4年3月31日(火)、4月5日(火)

場 所：WebClassによる配信（在学生）、330講義室および520講義室（新入生）

DVD視聴 「時速100kmの衝撃」

受講生：626名

- ・令和4年度日本学生支援機構奨学金「採用説明会」

開催日：令和4年5月12日(木)、13日(金)

場 所：520講義室

- ・令和4年度クラブ・サークル代表者会議

開催日：令和4年5月10日(月)

場 所：320講義室

出席者：27団体

- ・令和4年度学生大会

開催日：令和4年5月13日(金)

場 所：520講義室

- ・令和4年度学生生活にかかわる講演会

開催日：令和4年6月27日(月)

場 所：520講義室

演 題：「成人引き下げに伴うトラブル」

講 師：青森県消費生活センター

教育啓発課 課長 増田 あけみ 氏

前田 裕之 氏

南 香織 氏

参加者 213名

- ・運動会2022

開催日：令和4年10月22日(土)

場 所：八戸学院大学人工芝グラウンド、八戸学院総合体育館

テーマ 「 燦～君の声を聞かせて～ 」

参加者 300名

- ・はちがくフェス2022  
開催日：令和4年10月23日(日)  
場 所：八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部 美保野キャンパス  
テーマ 「 煌星 ～光を繋いで～」  
参加者 1,100名
- ・令和4年度日本学生支援機構奨学金「返還説明会」  
開催日：令和4年11月8日(火)、10日(木)  
場 所：520講義室  
対象者：令和4年度貸与者（4年生：卒業予定者）
- ・令和4年度美保野キャンパスクリスマス企画  
開催日：令和4年12月2日(金)  
場 所：520講義室  
内 容：お祈り、ハンドベル演奏、軽音ライブ、抽選会
- ・令和4年度日本学生支援機構奨学金「継続説明会」  
開催日：令和4年12月7日(火)、9日(金)、12日(月)  
場 所：320講義室、520教室、831教室  
対象者：2022年度貸与者（4年生を除く）
- ・令和4年度クラブ・サークル活動報告会  
開催日：令和4年12月9日(金)  
場 所：520講義室  
懇親パーティーは新型コロナウイルスの影響にて中止
- ・令和4年度八戸学院大学学友会役員選挙  
投票日：令和4年12月12日（火）  
選挙結果：○執行委員長  
戸 館 臨（地域経営学部地域経営学科2年）  
○副執行委員長  
中野 夏見（地域経営学部地域経営学科2年）  
川村 奈央（健康医療学部人間健康学科2年）  
○書 記 長  
佐々木 諒（地域経営学部地域経営学科1年）  
関 順晟（地域経営学部地域経営学科1年）

### ③スポーツ戦績

#### ◆硬式野球部

- ・春季リーグ（4/23～5/22）場 所：青森県営野球場他  
本学 0 - 2 富士大学  
本学 1 - 10 富士大学  
本学 2 - 3 青森大学  
本学 4 - 6 青森大学  
本学 14 - 0 盛岡大学  
本学 1 - 0 盛岡大学  
本学 5 - 1 青森中央学院大学  
本学 7 - 0 青森中央学院大学  
本学 5 - 3 ノースアジア大学  
本学 4 - 0 ノースアジア大学 3位
- ・新人戦（6/25）場 所：岩手県立大学野球場  
本学 0 - 6 富士大学
- ・秋季リーグ（8/20～9/18）  
場 所：一戸町総合運動公園野球場  
本学 5 - 0 岩手大学  
本学 5 - 3 岩手大学  
本学 5 - 2 ノースアジア大学  
本学 3 - 1 ノースアジア大学  
本学 0 - 7 富士大学

- 本学 7 - 5 富士大学
- 本学 2 - 5 青森大学
- 本学 1 - 2 青森大学
- 本学 6 - 5 青森中央学院大学
- 本学 3 - 0 青森中央学院大学 3位

#### ◆男子サッカー部

- ・東北大学サッカーリーグ1部（5/14～11/27）  
場 所：八戸学院大学人工芝他  
本学 4 - 1 青森大学  
本学 6 - 0 ノースアジア大学  
本学 1 - 3 富士大学  
本学 1 - 0 福島大学  
本学 6 - 0 東日本国際大学  
本学 9 - 1 東北工業大学  
本学 1 - 1 東北学院大学  
本学 3 - 1 東北大学  
本学 0 - 6 仙台大学  
本学 2 - 1 東北大学  
本学 1 - 2 仙台大学  
本学 3 - 1 ノースアジア大学  
本学 3 - 2 富士大学 2位

#### ◆女子サッカー部

- ・東北地域大学女子サッカーリーグ（9/10～10/23）  
場 所：仙台大学他  
本学 4 - 0 東北公益文化大学  
本学 9 - 0 東北福祉大学  
本学 0 - 3 仙台大学 2位
- ・THFA河北新報旗争奪東北女子サッカー選手権 兼 皇后杯JFA全日本女子サッカー選手権大会東北大会（9/23～10/10）場 所：高森山総合運動公園球技場他  
本学 4 - 2 仙台大学附属明成高校  
本学 1 - 7 マイナビ仙台レディースユース

#### ◆アイスホッケー部

- ・令和4年度東北地区学生アイスホッケー選手権大会 兼 第95回日本学生氷上競技選手権大会東北地区予選（11/21～11/23）場 所：ベルサンピアみやぎ泉  
本学 1 - 5 東北学院大学  
本学 10 - 3 東北福祉大学  
本学 3 - 5 八戸工業大学 3位
- ・第95回日本学生氷上競技選手権大会セカンドディビジョン（12/16～12/18）  
場 所：尼崎スポーツの森スケートリンク  
本学 10 - 4 駒沢大学  
本学 11 - 6 北海道大学  
本学 13 - 1 京都大学 1位

#### ◆陸上競技部

- ・第74回東北学生陸上競技対校選手権大会（6/12～6/14）場 所：秋田県立中央公園県営陸上競技場（男子）  
瀬川康介 砲丸投げ 1位

- ・天皇賜盃第91回日本学生陸上競技対校選手権大会 (男子)

灰玉平侑吾 100m 出場

#### ◆男子バスケットボール部

- ・東北大学北奥羽春季大会  
本学 20-0 岩手大学  
本学 76-88 富士大学  
本学 79-74 弘前大学 3位
- ・第23回東北大学リーグ一部 (9/2~9/11) 場所：青森中央学院大学体育館  
本学 70-92 東北学院大学  
本学 63-77 富士大学  
本学 62-103 仙台大学  
本学 80-85 岩手大学  
本学 76-64 青森中央学院大学 第6位  
順位決定戦場所：青森中央学院大学体育館  
本学 105-53 東北大学 一部残留

#### ◆女子バスケットボール部

- ・第23回東北大学リーグ一部 (9/2~9/11)  
場所：青森中央学院大学体育館  
本学 66-82 仙台大学  
本学 71-83 東北学院大学  
本学 89-70 福島大学  
本学 84-66 富士大学  
本学 81-52 弘前大学 第3位
- ・2022全日本大学バスケットボール選手権大会(12/4~7)  
場所：駒沢オリンピック公園総合運動場屋内球技場  
グループステージ  
本学 53-98 日本女子体育大学  
本学 44-85 名古屋学院大学

#### ◆男子ラグビー部

- ・2022年度東北地区ラグビーリーグ (9/25~10/16)  
場所：南郷陸上競技場他  
本学 不戦勝 福島大学  
本学 75-14 岩手大学  
本学 38-10 東北大学  
本学 24-12 東北学院大学 東北代表決定
- ・2022北日本大学ラグビー交流戦 (10/30・11/6)  
場所：札幌市月寒ラグビー場他  
本学 33-17 北海道大学  
本学 21-0 札幌大学 北海道・東北代表として全国大学選手権出場
- ・第59回全国大学ラグビーフットボール選手権大会 (11/19) 場所：ミクニワールドスタジアム北九州他  
本学 7-60 福岡工業大学

#### ◆女子ラグビー部

- ・八幡平フェスティバル (7/17)  
場所：八幡平市ラグビー場  
弘前サクラオーバルズとの合同チームで出場 1位
- ・東北総合体育大会 (8/20~21) 場所：山形県総合運動

公園ラグビー場

青森県代表で出場 1位

- ・アザレアセブンズカップ (9/24~25) 場所：エコパスタジアム  
弘前サクラオーバルズとの合同チームで出場 1位

#### ◆スピードスケート部

- ・全日本選抜スピードスケート競技会釧路大会 (11/25~11/27) 場所：釧路市柳町スピードスケート場  
上野恵理子 5000m 1位  
近藤杏菜 5000m 3位  
安田彩夏 マスタート 3位
- ・全日本選抜スピードスケート競技会帯広大会 (11/18~11/20) 場所：明治北海道十勝オーバル  
上野恵理子 5000m 3位
- ・全日本選抜スピードスケート競技会恵那大会 (12/2~12/4) 場所：岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場  
上野恵理子 5000m 1位  
マスタート 2位

#### ◆自転車競技部

- ・第77回全日本大学対抗選手権自転車競技大会 (9/1~3) 場所：鹿兒島根占自転車競技場  
小原乃亜 女子500mタイムトライアル 4位  
女子スプリント 1位  
松下彩也香 女子スプリント 6位
- ・第61回東日本学生選手権トラック自転車競技大会 (5/7~8) 場所：美鈴湖自転車競技場  
小原乃亜 女子500mタイムトライアル 1位  
女子スプリント 2位
- ・第62回全日本学生選手権トラック自転車競技大会 (7/2~3) 場所：日本CSC伊豆ペロドローム  
小原乃亜 女子500mタイムトライアル 3位  
女子スプリント 1位

#### ◆弓道部

- ・令和4年度青森県秋季弓道選手権大会 (11/21) 個人  
2位

#### ◆軽音楽部

- ・はちがくフェス (10/23) 出演
- ・クリスマス会 (12/2) オンライン出演

#### ◆軟式野球部

- ・令和4年春季全日本大学軟式野球大会リーグ戦  
本学 0-12 弘前大学  
本学 5-15 秋田大学  
本学 2-14 八戸工業大学

#### ◆障害者(児)共生サークル・アミューズ♪

- 第1回フレンドパーク (5/14)
- 第2回フレンドパーク (6/11)
- 第3回フレンドパーク (7/16)
- 第4回フレンドパーク (8/27)

- 第5回フレンドパーク (9/17)
- 第6回フレンドパーク (10/15)
- 第7回フレンドパーク (11/19)
- 第8回フレンドパーク (12/10)

#### ◆保健室サークル

- ・保健室だよりの作成
- ・保険に関する掲示物作成

#### ◆Earth World

- ・約120枚のタオル帽子の作成 (看護学科実習施設 4 病院へ寄付)

#### ◆Be-labo

- ・施設紹介動画作成

#### ◆BBS会

- ・はちのへスタディーサポートセンター学習支援ボランティアに参加 (4月～)
- ・市内高校生との「自然体験・交流塾」において、ボランティアとして参加 (7月)
- ・第42回青森県更生保護大会に参加 (11月)

#### ◆空手サークル

- ・野辺地西高校空手道部コーチとして、高校総体、東北大会に参加
- ・三沢市の空手協会のコーチとして、東北大会に参加
- ・日本空手道協会東北大会 大学・一般女子 組手 優勝 石田ひらり
- ・内閣総理大臣杯 全国空手道選手権大会 大学・一般女子 組手 二回戦敗退 石田 ひらり

#### [短大学生委員会]

委員長 差波 直樹  
副委員長 岩館垂沙美  
委員 本吉 好 橋本 知子

#### 学生委員会庶務日誌摘録

- 第1回 令和4年4月19日(火)
- 第2回 令和4年5月16日(月)
- 第3回 令和4年6月13日(月)
- 第4回 令和4年7月19日(火)
- 第5回 令和4年9月12日(月)
- 第6回 令和4年10月17日(月)
- 第7回 令和4年11月14日(月)
- 第8回 令和4年12月12日(月)
- 第9回 令和5年1月17日(火)
- 第10回 令和5年2月13日(月)
- 第11回 令和5年3月13日(月)

#### ①学生委員会学外会議

なし

#### ②学生委員会学内行事

- ・令和4年度定期健康診断  
開催日：令和4年4月4日(月)、5日(火)、13日(水)  
場 所：八戸西健診プラザ

受診者：174名

- ・令和4年度日本学生支援機構奨学金「予約採用説明会」  
開催日：令和4年4月5日(火)  
場 所：520講義室
- ・令和4年度日本学生支援機構奨学金「在学採用新規申込説明会」  
開催日：令和4年4月12日(火)～15日(金)  
場 所：520講義室
- ・令和4年度学生総会  
開催日：令和4年5月20日(金)  
場 所：新型コロナウイルス感染症拡大防止のためWebにて実施  
承認数：152名 (学生会規約第12条により成立し、議決)
- ・令和4年度第1回交通安全講習会 (短大)  
開催日：令和4年3月31日(木)、4月5日(火)  
場 所：短大211講義室、短大111講義室  
受講生：218名
- ・令和4年度日本学生支援機構奨学金「返還説明会」  
開催日：令和4年11月8日(火)  
場 所：520講義室  
対象者：令和4年度貸与者 (2年生：卒業予定者)
- ・令和4年度パークゴルフ大会  
開催日：令和4年7月2日(土)  
場 所：美保野パークゴルフ場  
参加者：30名
- ・令和4年度「運動会2022」  
開催日：令和4年10月22日(土)  
場 所：八戸学院大学人工芝グラウンド、八戸学院総合体育館  
参加者：約300名
- ・令和4年度「はちがくフェス2022」  
開催日：令和4年10月23日(日)  
場 所：八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部 美保野キャンパス  
参加者：約1,100名
- ・令和4年度日本学生支援機構奨学金「継続説明会」  
開催日：令和4年12月5日(月)～6日(火)  
場 所：幼児保育学科棟 121講義室  
対象者：令和4年度貸与者 (2年生除く)
- ・令和4年度第2回交通安全講習会 (短大)  
【1年生】 幼児保育学科・介護福祉学科  
開催日：令和4年10月5日(水)  
場 所：幼児保育学科棟 211講義室  
受講生：95名  
【2年生】 幼児保育学科・介護福祉学科  
開催日：令和4年10月5日(水)  
場 所：幼児保育学科棟 222講義室  
受講生：88名
- ・令和5年度八戸学院大学短期大学部学生会役員選挙  
○執行委員長 橋場美沙希 (幼児保育学科1年)  
○副執行委員長 新沼館みゆ (介護福祉学科1年)  
久保田真心 (幼児保育学科1年)  
○書記長 佐々木琴那 (幼児保育学科1年)  
○書記 三浦 せな (幼児保育学科1年)

(12) 広報委員会

○オープンキャンパス

・夏のオープンキャンパス

実施日：令和4年7月16日(土) (9:30~12:00)

対象者：1・2・3年生

内容：学科説明、体験授業、施設見学、個別相談

・秋のオープンキャンパス

実施日：令和4年9月17日(土) (9:30~12:00)

対象者：1・2・3年生

内容：学科説明、入試説明、小論文対策講座、施設見学、個別相談

・春のオープンキャンパス

実施日：令和5年3月11日(土) (9:30~12:00)

対象者：1・2・3年生

内容：学科説明、体験授業、施設見学、個別相談、5学科合同説明会

○説明会

<校内説明会>

・五所川原商業高等学校 (学校主催)

実施日：令和4年5月25日(水)

対象者：1・2・3年生

出席者：課長 村本 景  
舎監 渋谷帆香

・名久井農業高等学校 (ライセンスアカデミー主催)

実施日：令和4年6月8日(水)

対象者：2・3年生

出席者：幼児保育学科 准教授 佐貫 巧  
介護福祉学科 講師 鈴木絵美  
課長 村本 景

・十和田西高等学校 (ライセンスアカデミー主催)

実施日：令和4年6月14日(火)

対象者：3年生

出席者：課長 村本 景

・千葉学園高等学校 (さんぼう主催)

実施日：令和4年6月20日(月)

対象者：2年生

出席者：課長 村本 景

・八戸学院光星高等学校 (ライセンスアカデミー主催)

実施日：令和4年6月21日(火)

対象者：2年生

出席者：課長 村本 景  
舎監 渋谷帆香

・三沢高等学校 (ライセンスアカデミー主催)

実施日：令和4年6月22日(水)

対象者：1・2年生

出席者：人間健康学科講師 工藤祐太郎

・八戸工業大学第一高等学校 (キッズコーポレーション主催)

実施日：令和4年6月29日(水)

対象者：3年生

出席者：課長 村本 景  
舎監 渋谷帆香

・八戸学院光星高等学校 (さんぼう主催)

実施日：令和4年7月5日(火)

対象者：3年生

出席者：課長 村本 景  
主事 白井大介  
舎監 渋谷帆香

・八戸商業高等学校 (ライセンスアカデミー主催)

実施日：令和4年7月6日(水)

対象者：3年生

出席者：舎監 渋谷帆香

・百石高等学校 (ライセンスアカデミー主催)

実施日：令和4年7月6日(水)

対象者：3年生

出席者：課長 村本 景

・八戸学院野辺地西高等学校 (さんぼう主催)

実施日：令和4年9月5日(月)

対象者：1年生

出席者：課長 村本 景  
舎監 渋谷帆香

・八戸学院光星高等学校 (ライセンスアカデミー主催)

実施日：令和4年10月18日(火)

対象者：2年生

出席者：舎監 渋谷帆香  
舎監 中村 健

・八戸学院野辺地西高等学校 (ライセンスアカデミー主催)

実施日：令和4年10月24日(月)

対象者：1年生

出席者：舎監 渋谷帆香

・八戸学院光星高等学校 (さんぼう主催)

実施日：令和4年11月15日(火)

対象者：1年生

出席者：看護学科 教授 壬生 寿子  
人間健康学科 講師 工藤祐太郎  
幼児保育学科 講師 本吉 好  
介護福祉学科 講師 鈴木 絵美

・八戸聖ウルスラ学院高等学校 (キッズコーポレーション主催)

実施日：令和4年11月28日(月)

対象者：1年生

出席者：舎監 渋谷帆香

・三本木農業恵拓高等学校 (ライセンスアカデミー主催)

実施日：令和4年11月30日(水)

対象者：1年生

出席者：舎監 渋谷帆香

・千葉学園高等学校 (さんぼう主催)

実施日：令和4年12月9日(金)

対象者：1年生

出席者：舎監 中村 健

・八戸工業大学第一高等学校 (キッズコーポレーション主催)

実施日：令和4年12月13日(火)

対象者：2年生

出席者：舎監 渋谷帆香

・千葉学園高等学校 (ライセンスアカデミー主催)

実施日：令和4年12月14日(水)

対象者：1年生

出席者：舎監 渋谷帆香

・八戸学院野辺地西高等学校（さんぼう主催）

実施日：令和5年1月30日(月)

対象者：1年生

出席者：地域経営学科 講師 横田 将志

人間健康学科 講師 工藤祐太郎

幼児保育学科 准教授 佐貫 巧

介護福祉学科 准教授 鳴海 孝彦

・百石高等学校（ライセンスアカデミー主催）

実施日：令和5年2月8日(水)

対象者：1年生

出席者：地域経営学科 講師 井上 丹

・向陵高等学校（キッズコーポレーション主催）

実施日：令和5年3月13日(月)

対象者：2年生

出席者：舎監 渋谷帆香

舎監 中村 健

・八戸学院野辺地西高等学校（ライセンスアカデミー主催）

実施日：令和5年3月14日(火)

対象者：2年生

出席者：看護学科 教授 壬生 寿子

※その他、各地ホテルで行なわれた業者主催進学相談会には、15回出席。

#### ○庶務日誌摘録

令和4年 4月13日(水) 5月11日(水) 6月1日(水)

7月6日(水) 9月7日(水) 10月5日(水)

11月2日(水) 12月7日(水)

令和5年 2月1日(水) 3月1日(水)

#### (13) 入学試験運営委員会

##### ○令和5年度入学試験

令和4年 10月15日(土)

大学、短大：総合型選抜(資格特待含む)A日程

11月19日(土)

大学、短大：学校推薦型選抜

12月17日(土)

大学、短大：総合型選抜(資格特待含む)B日程

大学：編入・転入学選抜Ⅰ期

別科助産専攻：別科助産専攻選抜

短大：社会人選抜Ⅰ期

令和5年 2月10日(金)

大学、短大：一般選抜Ⅰ期、大学入学共通テスト試験成績利用選抜A日程

大学：外国人留学生選抜Ⅰ期

2月24日(金)

大学、短大：総合型選抜(資格特待含む)C日程

大学入学共通テスト試験成績利用選抜B日程

大学：編入・転入学選抜Ⅱ期

短大：社会人選抜Ⅱ期

3月10日(金)

大学：一般選抜Ⅱ期、外国人留学生選抜Ⅱ期

大学、短大：大学入学共通テスト試験成績利用選抜C日程

#### 庶務日誌摘録

#### ○入学試験運営委員会

令和4年 4月12日(火) 5月10日(火) 6月14日(火)

7月12日(火) 9月13日(火) 10月11日(火)

11月8日(火) 12月13日(火)

令和5年 1月16日(月) 2月7日(火)

#### ◆大学入学共通テスト実施委員会

##### ①学外会議

・大学入学共通テスト地区別連絡協議会（紙上）

##### ②その他

・令和5年度大学入学共通テストの実施

令和5年度大学入学共通テストは、令和5年1月14日(土)・15日(日)2日間で実施された。

##### ③庶務日誌摘録

・大学入学共通テスト実施委員会

令和4年 10月11日(火) 11月8日(火) 12月9日(金)

12月19日(月) (監督者説明会)

12月22日(水)

令和5年 1月6日(金) 2月7日(火)

#### (14) 就職支援委員会

[大学]

##### ①学外会議

・東北地区私立大学就職問題協議会オンライン会議

日 時：令和4年6月24日(金) 13：00～17：00

出席者：キャリア支援課 課長 村本景

・北東北三県私立大学就職支援研究会（オンライン）

日 時：令和4年10月17日(月) 8：45～12：00

出席者：キャリア支援課 課長 村本景

・青森県就職情報交換会（オンライン）

日 時：令和4年11月10日(水)

出席者：キャリア支援課 主任 橘勇佑

##### ②就職ガイダンス・説明会の実施状況

###### 【就職セミナー】

講座名：看護学科キャリア支援講座(就活マスター講座)

日 時：令和4年4月7日(水) 8：50～12：00

講 師：第一部 株式会社マイナビ 草刈惟那 氏

第二部 看護学科教員(川野恵知子 佐々木真湖 田中祐太)

参加者：55名(看護学科)

講座名：就活！スタートアップガイダンス

講 師：株式会社マイナビ 鶴宮一輝・吉田理恵 氏

日 時：令和4年5月26日(水) 12：50～14：20

参加者：33名(地域経営学科・人間健康学科)

講座名：就活の第一歩はここから！インターンシップ準備講座

講 師：株式会社リクルート 前田聡美 氏

日 時：令和4年6月2日(水) 12：50～14：20

参加者：38名(地域経営学科・人間健康学科)

講座名：看護学科キャリア支援講座(就活スタートアップ講座)

日 時：令和4年6月15日(水) 15：30～16：00

講師：株式会社マイナビ 草刈惟那 氏  
参加者：57名（看護学科）

講座名：将来の自分の姿を考え、知るための「業界研究セミナー」

講師：株式会社ディスコ 貫洞直希 氏  
日時：令和4年9月29日(木) 12:50~14:20  
参加者：9名（地域経営学科・人間健康学科）

講座名：リクナビ性格検査を活用した自己分析講座  
講師：株式会社リクルート 前田聡美 氏  
日時：令和4年10月13日(木) 12:50~14:20  
参加者：21名（地域経営学科・人間健康学科）

講座名：後期就活スタートアップ講座  
講師：株式会社マイナビ 鶴宮一輝 氏  
日時：令和4年10月27日(木) 12:50~14:20  
参加者：6名（地域経営学科・人間健康学科）

講座名：看護学科キャリア支援講座（後期就活スタートアップ講座・オンライン）  
日時：令和4年11月15日(火)~12月12日(月)  
オンデマンド配信  
講師：株式会社マイナビ 草刈惟那 氏

講座名：就活直前準備講座~今やること、合説参加のマナーを理解しよう~  
講師：株式会社リクルート 前田聡美 氏  
日時：令和5年2月22日(木) 13:00~14:00  
参加者：18名

#### 【学内企業説明会】

- ・令和4年4月26日(火) 階上キューピー株式会社（対面）
- ・令和4年4月20日(木) 株式会社コメリ（オンライン）
- ・令和4年6月16日(木) 青森沢井薬品株式会社（オンライン）
- ・令和4年7月15日(金) 社会福祉法人青葉福祉会（オンライン）
- ・令和4年7月20日(木) サントリービバレッジソリューション株式会社（オンライン）
- ・令和4年7月21日(木) 株式会社コメリ（対面）
- ・令和4年9月21日(木) サントリービバレッジソリューション株式会社（オンライン）
- ・令和4年11月22日(火) 株式会社東北丸和ロジティクス（オンライン）
- ・令和4年12月9日(金) 三甲株式会社（オンライン）
- ・令和5年2月10日(金) 株式会社平山（対面）

#### 【就職説明会】

- ・地域経営学科・人間健康学科対象  
開催日：令和5年2月28日(火)~3月3日(金)  
実施方法：オンライン  
企業数：23社  
参加者：38名
- ・看護学科対象  
開催日：令和4年12月24日(土) 13:00~14:50

実施方法：対面  
会場：八戸学院大学 8号館3階各講義室  
施設数：13施設  
参加者：55名

#### ③課外講座開催状況

・公務員採用試験対策講座  
日時：令和4年5月23日(月)・25日(水)・27日(金)・30日(月)  
6月1日(水)・3日(金)・6日(月)・8日(水)  
13日(月)・15日(水) 16:10~17:40

講師：特定非営利活動法人ミルトス塾  
・教員採用試験対策講座  
日時：令和4年5月23日(月)・25日(水)・30日(月)  
6月1日(水)・3日(金)・6日(月)・10日(金)  
13日(月)・17日(金)・20日(月)  
16:10~17:40

講師：特定非営利活動法人ミルトス塾  
・社会福祉士国家試験対策講座（オンライン）  
日時：令和4年12月13日(火)・15日(木)・20日(火)・22日(木)  
8:50~10:20および10:30~12:00

講師：武山梅乗 氏

#### ④その他

・看護学科卒業生講話（オンライン）  
日時：令和4年11月15日(火)~12月15日(木)  
オンデマンド配信  
講師：聖マリアンナ医科大学病院 昆 佑香 氏  
八戸市立市民病院 高橋修尉 氏

・看護学科マナー講座（オンライン）  
日時：令和4年11月15日(火)~12月15日(木)  
オンデマンド配信  
講師：聖マリアンナ医科大学病院 看護統括担当役員  
看護部長 本館教子 氏

#### ⑤庶務日誌摘録

令和4年 4月12日(火) 5月10日(火) 6月14日(火)  
7月12日(火) 9月13日(火) 10月11日(火)  
11月8日(火) 12月6日(火)  
令和5年 2月14日(火) 3月14日(火)

#### 【短期大学部】

##### ①学外会議

・東北地区私立短期大学就職指導研究会オンライン会議  
日時：令和4年9月2日(金) 9:30~12:30  
出席者：キャリア支援課 課長 村本景  
・青森県就職情報交換会（オンライン）  
日時：令和4年11月10日(木)  
出席者：キャリア支援課 主任 橘勇佑

##### ②就職ガイダンス・説明会の実施状況

・就職ガイダンス  
日時：令和4年6月22日(水)  
講師：社会福祉法人恵泉会 中居林こども園  
理事長 椋沢 幸苗 氏  
社会福祉法人至誠会 あけぼの学園  
福田 久美 氏、小向 茉結 氏

##### ③その他

・幼児保育学科マナー講座

- 日 時：令和4年6月22日(水)  
講 師：株式会社コナカ、株式会社ポーラ
- ・幼児保育学科就職ガイダンス  
日 時：令和4年6月22日(水) 10:30~12:00  
講 師：社会福祉法人 恵泉会 中居林こども園  
理事長 権沢 幸苗 氏  
社会福祉法人 至誠会 あけぼの学園  
福田 久美 氏、小向 茉結 氏
  - ・幼児保育学科卒業生との懇談会  
日 時：令和4年12月7日(水) 12:50~16:00  
講 師：幼保連携型認定こども園八戸学院幼稚園  
清水向日葵 氏  
認定こども園かもめ幼稚園 小清水瑠希 氏  
幼保連携型認定こども園むつみ保育園  
杉沢日菜野 氏  
幼保連携型認定こども園長坂保育園 成田陽子 氏  
児童発達支援センター柱堂学園 杉山祐希 氏  
放課後等デイサービスみゅ〜みゅ〜  
市沢早結希 氏
  - ・介護福祉学科卒業生との懇談会  
日 時：令和5年1月27日(金) 14:30~16:00  
講 師：介護老人保健施設とわだ 小笠原怜南 氏  
特別養護老人ホーム光葉園 高島蒼依 氏  
株式会社リブライズ かっこの森 玉澤杏奈 氏

#### ④庶務日誌摘録

令和4年 4月19日(火) 5月17日(火) 6月14日(火)  
7月19日(火) 9月20日(火) 10月18日(火)  
11月15日(火) 12月6日(火)  
令和5年 2月14日(火) 3月14日(火)

#### (15) 国際交流・留学生支援委員会

委員長 柴垣 博孝  
副委員長 三浦 文恵 横田 将志  
委員 B. グロスマン G. アンソニー  
崔 桓碩 渡邊 陵由 井川 昭弘  
壬生 寿子 藤邊 祐子 坂本利枝子  
楊 麗栄 安田 美央 中村 蘭

#### 国際交流支援委員会庶務日誌摘録

第1回 令和4年4月15日(金)  
第2回 令和4年5月17日(火)  
第3回 令和4年6月7日(火)  
第4回 令和4年7月12日(火)  
第5回 令和4年9月14日(水)  
第6回 令和4年10月13日(木)  
第7回 令和4年11月14日(月)  
第8回 令和4年12月12日(月)  
第9回 令和5年1月16日(月)  
第10回 令和5年2月7日(火)  
第11回 令和5年3月13日(月)

#### ①国際交流支援委員会学外会議 なし

#### ②国際交流支援委員会行事

- ・海外研修説明会  
開催日：令和4年4月5日(火)

場 所：520講義室、330講義室、833講義室  
211講義室（短大）

- ・八戸青年会議所4月定例会：  
「個性と多様性輝くカラフルな八戸の未来を描こう」  
「多文化共生社会が実現された八戸の理想の未来像について」  
開催日：令和4年4月18日(月)  
場 所：グランドサンピア八戸  
参加者：三浦文恵、G. アンソニー、崔 桓碩  
楊 麗栄、中村 蘭
- ・八戸国際交流協会通常総会  
開催日：令和4年6月23日(木)  
場 所：YSアリーナ八戸1階大会議室
- ・TOEIC試験  
<春学期>  
開催日：令和4年7月22日(金)  
受験者4名（大学4名）  
場 所：8号館831講義室  
<秋学期>  
開催日：令和5年1月20日(金)  
受験者7名（大学6名・短大1名）  
場 所：8号館833講義室
- ・第1回あおもりグローバル人財養成セミナー（あおもり  
グローバルアカデミー）実行委員会出席  
開催日：令和4年5月27日(金)  
場 所：三沢国際交流教育センター  
参加者：三浦文恵、G. アンソニー
- ・第2回あおもりグローバル人財養成セミナー（あおもり  
グローバルアカデミー）実行委員会出席  
開催日：令和5年2月13日(月)  
場 所：三沢国際交流教育センター  
参加者：三浦文恵、G. アンソニー
- ・あおもりグローバル交流会  
開催日：令和4年8月21日(日)  
場 所：八戸市ユートリー  
参加者：三浦文恵
- ・あおもりグローバルアカデミー（第1回）  
開催日：令和4年10月29日(土)~令和4年10月30日(日)  
場 所：三沢国際交流教育センター  
参加者：三浦文恵、G. アンソニー  
学生3名（地域経営2名、幼児保育1名）
- ・あおもりグローバルアカデミー（第2回）兼公開講座  
開催日：令和4年11月19日(土)~令和4年11月20日(日)  
場 所：三沢国際交流教育センター  
参加者：三浦文恵、G. アンソニー  
学生3名（地域経営2名、幼児保育1名）
- ・あおもりグローバルアカデミー（第3回）  
開催日：令和4年12月10日(土)~令和4年12月11日(日)  
場 所：三沢国際交流教育センター  
参加者：三浦文恵、G. アンソニー  
学生3名（地域経営2名、幼児保育1名）
- ・あおもりグローバルアカデミー関連講座 ドキュメンタリー「八甲田山」を語る（英語）  
開催日：令和4年12月14日(水)

- 場 所：三沢国際交流教育センター  
 参加者：三浦文恵、学生1名（地域経営1名）
- ・令和4年度在三沢米軍施設・区域内大学就学候補者選考委員会及び面接試験  
 開催日：令和5年1月21日(土)  
 場 所：三沢国際交流教育センター  
 参加者：三浦文恵
  - ・第1回西安外国語大学（中国）とのオンライン交流会  
 開催日：令和4年6月14日(火)  
 場 所：8号館3階833講義室  
 参加者：本学24名
  - ・第2回西安外国語大学（中国）とのオンライン交流会  
 開催日：令和4年6月28日(火)  
 場 所：8号館3階833講義室  
 参加者：本学24名
  - ・第1回ジェームズクック大学ケアンズ校（オーストラリア）とのオンライン交流会  
 開催日：令和4年6月9日(木)  
 場 所：国際交流ラウンジ  
 参加者：本学4名
  - ・第2回ジェームズクック大学ケアンズ校（オーストラリア）とのオンライン交流会  
 開催日：令和4年7月21日(木)  
 場 所：国際交流ラウンジ  
 参加者：本学5名
  - ・第3回ジェームズクック大学ケアンズ校（オーストラリア）とのオンライン交流会  
 開催日：令和4年11月10日(木)  
 場 所：国際交流ラウンジ  
 参加者：本学5名
  - ・広西城市職業大学（中国）とのオンライン交流会  
 開催日：令和4年11月16日(木)  
 場 所：国際交流ラウンジ  
 参加者：本学7名
  - ・八戸学院大学・八戸工業大学留学生交流会  
 開催日：令和5年2月3日(金)  
 場 所：国際交流ラウンジ  
 内 容：交流パーティー  
 参加者：本学4名、八戸工業大学生3名
  - ・シアトル海外語学研修への参加  
 研修地：アメリカ合衆国ワシントン州シアトル  
 備 考：新型コロナウイルス感染症の影響により中止
  - ・チェンマイ海外語学研修への参加  
 研修地：タイ王国チェンマイ  
 参加者：本学生3名  
 バリー・グロスマン(国際交流・留学生支援委員)
  - ・EF海外語学研修への参加  
 研修地：各国  
 備 考：該当者なし
  - ・CNE 1海外語学研修への参加  
 研修地：フィリピン  
 備 考：該当者なし

## (16) 図書委員会

### ①学外会議

1. 令和4年度青森県高等教育機関図書館協議会総会  
 開催日：令和4年7月28日(木)  
 場 所：オンライン
2. 令和4年度青森県高等教育機関図書館協議会研修会  
 開催日：令和4年12月20日(火)  
 場 所：オンライン

### ②休・閉館について

- 令和4年8月9日(火)～8月16日(火) 夏季休業等  
 令和4年12月26日(月)～令和5年1月4日(水) 年末年始休業  
 令和5年1月12日(木)～1月13日(金) 大学入学共通テスト  
 令和5年1月16日(月)～1月19日(木) 新型コロナウイルス感染症対策臨時閉館  
 令和5年3月20日(月) 学位記授与式

### ③『八戸学院大学紀要』『八戸学院大学短期大学部紀要』の内容一覧

- (1) 『八戸学院大学紀要第65号』（2022年12月23日発行）

#### ◇Gregory C. ANTHONY

- ・ Preferences and Perceptions of Study Abroad Programs at a Private Japanese University

#### ◇泉水 朝宏, 丸山 瀬奈, 有光 琢磨

- ・ クラウチングスタートにおけるメディシンボール投げトレーニングの有効性

#### ◇高橋 正知

- ・ 加熱式たばこ電子たばこに対するハーム・リダクションによるアプローチ

- (2) 『八戸学院大学紀要第66号』（2023年3月31日発行）

#### ◇Barry Grossman

- ・ A Cognitive-Corpus Linguistic Investigation of Self-Causation During the COVID-19 Pandemic

#### ◇横田将志

- ・ 北東アジアの環境協力の強化に求められる2つの「外的」要因－メコン地域と東南アジアの経験から

#### ◇山本雄大, 齋藤りこ

- ・ 苦味を好むこととパーソナリティの関係性：大学生調査

#### ◇大木えりか

- ・ 農村女性の地域づくりと福祉のつながりを示すための文献レビュー

#### ◇佐藤千恵子

- ・ 短命県返上に向けた「食育」の取組み－青森県における食育推進事業からの展望－

#### ◇坂本保子

- ・ 地域における子育て支援に関する現状と課題－子育てサロンを利用している母親の育児ストレス－

#### ◇藤邊祐子

- ・ 青森県の産後ケア事業の実態と課題－市町村役場公式ホームページの情報から－

#### ◇佐々木真湖, 田中克枝, 切明美保子, 古舘美喜子

- ・ 看護学生の社会人基礎力の自己評価の比較－新型コロナウイルス感染症流行による影響－

#### ◇堺香奈子, 坂本保子, 藤邊祐子, 前森桃子

- ・ 看護学におけるルーブリックの作成過程と導入後の効果に関する文献検討－沐浴演習のルーブリック作成に向け

て-

- ◇田中祐太, 木村 緑
    - ・発達障害及び発達障害特性のある看護師のワーク・エンゲイジメントに寄与する支援に関する文献検討
  - ◇川野恵智子, 坂本弘子, 切明美保子
    - ・統合看護実習における複数患者受け持ち行動計画立案-教育用電子カルテを活用した情報収集演習の評価-
  - ◇木村緑, 田中祐太
    - ・就労継続支援施設で就労する職員のワーク・エンゲイジメントに関する研究
    - (3)『八戸学院大学短期大学部研究紀要第55巻』(2022年12月23日発行)
  - ◇加藤 康子
    - ・親子クッキングからの食育活動-「おやつをつくろう」ワークショップ-
  - ◇赤羽卓朗, 松山政義
    - ・地方自治体、介護事業者、短期大学の連携協働による介護福祉人材養成確保の試みについて-外国人留学生を対象とした取り組み-
  - ◇高橋 英成
    - ・特別養護老人ホームの入浴に関する先行研究の整理と検討
    - (4)『八戸学院大学短期大学部研究紀要第56巻』(2023年3月31日発行)
  - ◇差波直樹
    - ・幼稚園における環境を通じた教育の実際
  - ◇坂本利枝子
    - ・声遊びを通じた幼児の発声に関する一考察
  - ◇岩館亜沙美, 鈴木絵美, 高橋英成, 鳴海孝彦, 小川あゆみ, 赤羽卓朗
    - ・訪問介護事業における人材不足に関する調査研究-八戸市内の事業所を対象に-
  - ◇岩館亜沙美, 韓志誠, 田嶋美玖, 趙彩云, 延足愛莉, 宮崎優香, 鳴海孝彦, 赤羽卓朗
    - ・介護の仕事に対する高校生の意識調査研究
  - ◇鈴木絵美, 岩館亜沙美, 赤羽卓朗
    - ・介護福祉人材の養成確保について-介護福祉職の自由記述文を対象としたKHコーダーによる分析から-
  - ◇鳴海孝彦
    - ・災害時の福祉支援体制の整備にかかる研修体系に関する調査研究
  - ◇柏葉英美
    - ・認知症バーチャルリアリティの効果-アンケート調査からの分析-
  - ◇三浦文恵
    - ・幼児への読み聞かせ-ボランティア「青い鳥」の活動から
- ④その他
1. 八戸学院図書館ビブリオバトル  
開催日: 令和4年7月15日(金)  
会場: 図書館1階閲覧室
  2. ブックハンティング  
開催日: 令和4年10月24日(月)  
場所: 八戸ブックセンター
  3. 八戸学院図書館・八戸工業大学図書館 読書週間合同企画 図書交換2022

開催期間: 令和4年11月1日(火) ~ 11月30日(水)

会場: 八戸学院図書館及び八戸工業大学図書館・閲覧室

4. 八戸学院大学・八戸工業大学・八戸ブックセンタービブリオバトル交流会

開催日: 令和5年2月24日(金)

会場: 図書館チャペル

5. テーマ展示

3.11 東日本大震災特集『キロクをキオクに』

D.D-books

本屋大賞特集

大人が読む絵本

ブックハンティング選書本展示

- ⑤庶務日誌摘録

・図書委員会

令和4年4月25日(月)

令和4年9月12日(月)

令和5年1月23日(月)

## (17) 地域連携研究センター

1. 産業文化研究 第31号 (令和4年3月31日発行)

○原著論文

◇安田 美央

『地方の私立大学等における国際化・グローバル化・多文化化に対応した教育について

—国際協働オンラインプログラム(COIL)等実施のための予備的考察—』

○総説

◇関川 幸子

『性教育の一考察-義務教育について-』

○研究ノート

◇大沢 泉

『明治期における青森県産業振興』

◇井上 丹

『持続可能な観光地域経営のための地域連携によるイベント結果と考察』

◇小澤 昭夫

『明治5(1872)年の独和辞典—八戸学院図書館旧蔵『字和袖珍字書』覚え書き—』

○センター事業等記録・報告

◇佐貫 綾乃

『南部町「3つの花」体操普及事業の報告(第2報)』

2. 受託研究・受託事業

○受託名: 八戸市都市研究検討会事務局業務

委託者: 八戸市(総合政策部政策推進課政策推進グループ)

○受託名: あおもりツーリズム創発塾運営業務

委託者: 青森県(観光国際戦略局観光企画課まるごとあおもり情報発信グループ)

○受託名: 大学資産を活用したアートの学び事業業務委託

委託者: 八戸市(八戸市美術館)

○受託名: 大学スポーツ資源を活用した地域振興モデル創出支援事業

委託者: スポーツ庁

一般社団法人大学スポーツ協会

- 受託名：産学官金連携による新ビジネス創発業務—あおもり共創ビジネスプログラム  
委託者：青森県（商工労働部新産業創造課）
3. 課外講座開催状況
- 講座名：大学資産を活用したアートの学び事業  
三校連携創作体験ワークショップ  
「11ぴきのねことぶた」に出てくるぶたくんのいえをつくろう！」  
開催日：令和4年8月27日(土)  
会場：八戸市美術館 ワークショップルーム  
講師：佐貫 巧（八戸学院大学短期大学部 幼児保育学科 准教授）  
主催：八戸学院地域連携研究センター（八戸市美術館委託事業）
- 講座名：大学資産を活用したアートの学び事業  
三校連携創作体験ワークショップ  
「きえちゃん写真を撮ろうーうごく写真ととまった写真」  
開催日：令和4年11月3日（水・祝日）  
会場：八戸市美術館 スタジオ・ジャイアントルーム  
講師：池田 拓馬（八戸学院大学短期大学部 幼児保育学科 准教授）  
主催：八戸学院地域連携研究センター（八戸市美術館委託事業）
- 講座名：大学資産を活用したアートの学び事業  
三校連携創作体験ワークショップ  
「みんなで創る写真のおんがく」  
開催日：令和4年11月5日(土)  
会場：八戸市美術館 スタジオ  
講師：安田 美央（八戸学院地域連携研究センター講師）  
主催：八戸学院地域連携研究センター（八戸市美術館委託事業）
- 講座名：大学スポーツ資源を活用した地域振興モデル創出事業  
「次世代育成マルチスポーツ体験・バスケットボール教室①」  
開催日：令和4年11月5日(土)  
会場：YSアリーナ八戸  
講師：角田 大志 氏（八戸DIME）  
橘 舞 氏（八戸DIME）  
主催：八戸学院大学（スポーツ庁委託事業）
- 講座名：大学スポーツ資源を活用した地域振興モデル創出事業  
「次世代育成マルチスポーツ体験・3X 3教室①」  
開催日：令和4年11月5日(土)  
会場：YSアリーナ八戸  
講師：角田 大志 氏（八戸DIME）  
橘 舞 氏（八戸DIME）  
主催：八戸学院大学（スポーツ庁委託事業）
- 講座名：令和4年度地域医療セミナー  
『今からでも始められる歯の健康管理』  
開催日：令和4年11月10日（木）  
会場：八戸学院大学  
講師：吉田 洋一 氏（八戸総合 歯科・矯正歯科

- 院長）  
主催：八戸学院大学健康医療学部
- 講座名：大学スポーツ資源を活用した地域振興モデル創出事業  
「次世代育成マルチスポーツ体験・スピードスケート教室①」  
開催日：令和4年11月12日(土)  
会場：YSアリーナ八戸  
講師：駒目 亜衣（八戸学院大学スピードスケート部 監督）  
宮澤 茉那（八戸学院大学スピードスケート部 キャプテン）  
主催：八戸学院大学（スポーツ庁委託事業）
- 講座名：ビブリオバトル  
開催日：令和4年11月12日(土)  
会場：デーリー東北ホール  
主催：デーリー東北新聞社
- 講座名：大学スポーツ資源を活用した地域振興モデル創出事業  
「次世代育成マルチスポーツ体験・スピードスケート教室②」  
開催日：令和4年11月13日(日)  
会場：YSアリーナ八戸  
講師：駒目 亜衣（八戸学院大学スピードスケート部 監督）  
宮澤 茉那（八戸学院大学スピードスケート部 キャプテン）  
主催：八戸学院大学（スポーツ庁委託事業）
- 講座名：大学スポーツ資源を活用した地域振興モデル創出事業  
「次世代育成マルチスポーツ体験・バスケットボール教室②」  
開催日：令和4年11月19日(土)  
会場：YSアリーナ八戸  
講師：宮越 康楨 氏（八戸DIME）  
橘 舞 氏（八戸DIME）  
主催：八戸学院大学（スポーツ庁委託事業）
- 講座名：大学スポーツ資源を活用した地域振興モデル創出事業  
「次世代育成マルチスポーツ体験・3X 3教室②」  
開催日：令和4年11月19日(土)  
会場：YSアリーナ八戸  
講師：宮越 康楨 氏（八戸DIME）  
橘 舞 氏（八戸DIME）  
主催：八戸学院大学（スポーツ庁委託事業）
- 講座名：大学資産を活用したアートの学び事業  
三校連携創作体験ワークショップ  
「つくってとばしてまわしてあそぼう～1 Park」  
開催日：令和4年11月26日(土)  
会場：八戸市美術館 ジャイアントルーム  
講師：差波 直樹（八戸学院大学短期大学部 幼児保育学科 准教授）  
幼児保育学科差波ゼミナール所属学生  
主催：八戸学院地域連携研究センター（八戸市美術館

委託事業)

- 講座名：ビブリオバトル  
開催日：令和4年11月12日(土)  
会場：デーリー東北ホール  
主催：デーリー東北新聞社、八戸学院大学
- 講座名：大学資産を活用したアートの学び事業  
学生×社会人の学び実践講座  
「ジャイアントルーム開拓団①使い方の幅を広げよう！」  
開催日：令和4年11月23日(水・祝日)  
会場：八戸市美術館 ジャイアントルーム・スタジオ・八戸市中心街  
講師：笹尾 和宏 氏 (『PUBLIC HACK 私的に自由にまちを使う』著者)  
山下 裕子 氏 (ひと・ネットワーククリエイター・広場ニスト)  
堤 静子 (八戸学院地域連携研究センターセンター長)  
主催：八戸学院地域連携研究センター (八戸市美術館委託事業)
- 講座名：大学スポーツ資源を活用した地域振興モデル創出事業  
「次世代育成マルチスポーツ体験・陸上教室①②」  
開催日：令和4年12月10日(土)  
会場：YSアリーナ八戸 人工芝コート  
講師：泉水 朝宏 (八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科 助教)  
本吉 好 (八戸学院大学短期大学部幼児保育学科 講師)  
主催：八戸学院大学 (スポーツ庁委託事業)
- 講座名：大学スポーツ資源を活用した地域振興モデル創出事業  
「次世代育成マルチスポーツ体験・ラグビー教室①②」  
開催日：令和4年12月10日(土)  
会場：YSアリーナ八戸 人工芝コート  
講師：安部 恒俊 (八戸学院光星高等学校男女ラグビー部監督)  
山下 祐史 (八戸学院大学 男女ラグビー部ヘッドコーチ)  
坂本 悟一 (八戸学院大学男女ラグビー部コーチ)  
主催：八戸学院大学 (スポーツ庁委託事業)
- 講座名：大学スポーツ資源を活用した地域振興モデル創出事業  
「次世代育成マルチスポーツ体験・アイスホッケー教室①②」  
開催日：令和4年12月10日(土)  
会場：フラット八戸  
講師：古川 駿 氏 (東北フリーブレイズ)  
畑 享和 氏 (東北フリーブレイズ)  
武尾 秀康 氏 (東北フリーブレイズ)  
田中 敏則 (八戸学院光星高等学校 アイスホッケー部 顧問)  
主催：八戸学院大学 (スポーツ庁委託事業)

- 講座名：大学スポーツ資源を活用した地域振興モデル創出事業  
「次世代育成マルチスポーツ体験・アイスホッケー教室③」  
開催日：令和4年12月11日(日)  
会場：フラット八戸  
講師：武尾 秀康 氏 (東北フリーブレイズ)  
田中 敏則 (八戸学院光星高等学校 アイスホッケー部 顧問)  
主催：八戸学院大学 (スポーツ庁委託事業)
- 講座名：ERASMUSプロジェクトONLINE講座  
「家庭科をEUの初等教育に導入するための試験的計画①」  
開催日：令和4年12月12日(月)  
会場：オンライン  
講師：加藤 康子 (八戸学院地域連携研究センター副センター長)  
川守田景子 (八戸学院地域連携研究センター講師)
- 講座名：大学スポーツ資源を活用した地域振興モデル創出事業  
「次世代育成マルチスポーツ体験・陸上 教室③」  
開催日：令和4年12月18日(日)  
会場：八戸学院美保野キャンパス  
講師：泉水 朝宏 (八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科 助教)  
本吉 好 (八戸学院大学短期大学部幼児保育学科 講師)  
主催：八戸学院大学 (スポーツ庁委託事業)
- 講座名：大学スポーツ資源を活用した地域振興モデル創出事業  
「次世代育成マルチスポーツ体験・ラグビー教室③」  
開催日：令和4年12月18日(日)  
会場：八戸学院大学  
講師：安部 恒俊 (八戸学院光星高等学校男女ラグビー部監督)  
山下 祐史 (八戸学院大学 男女ラグビー部ヘッドコーチ)  
主催：八戸学院大学 (スポーツ庁委託事業)
- 産学官金連携による新ビジネス創発業務  
「あおもり共創プログラム：キックオフセミナー」  
開催日：令和4年12月22日(木)  
会場：八戸市美術館 ジャイアントルーム  
主催：八戸学院地域連携研究センター (青森県委託事業)
- 講座名：大学資産を活用したアートの学び事業  
学生×社会人の学び事業  
「ジャイアントルーム開拓団②どこまで自由に使えるか!？」  
開催日：令和5年1月7日(土)  
会場：八戸市美術館 ジャイアントルーム・スタジオ・八戸市中心街  
講師：笹尾 和宏 氏 (『PUBLIC HACK 私的に

- 自由にまちを使う』著者)  
 山下 裕子 氏 (ひと・ネットワーククリエイター・広場ニスト)  
 堤 静子 (八戸学院地域連携研究センターセンター長)
- 主 催：八戸学院地域連携研究センター (八戸市美術館委託事業)
- 講座名：大学資産を活用したアートの学び事業  
 三校連携創作体験ワークショップ  
 「SDGs×LEGO-わたしたちの未来-」  
 開催日：令和5年1月7日(土)  
 会 場：八戸市美術館 ワークショップルーム  
 講 師：川守田景子 (八戸学院地域連携研究センター講師)
- 主 催：八戸学院地域連携研究センター (八戸市美術館委託事業)
- 講座名：大学スポーツ資源を活用した地域振興モデル創出事業  
 「次世代育成マルチスポーツ体験・バスケトボール教室③」  
 開催日：令和5年1月14日(土)  
 会 場：八戸市体育館  
 講 師：北向 由樹 氏 (八戸DIME)  
 橋 舞 氏 (八戸DIME)
- 主 催：八戸学院大学 (スポーツ庁委託事業)
- 講座名：大学スポーツ資源を活用した地域振興モデル創出事業  
 「次世代育成マルチスポーツ体験・3X 3教室③」  
 開催日：令和5年1月14日(土)  
 会 場：八戸市体育館  
 講 師：北向 由樹 氏 (八戸DIME)  
 橋 舞 氏 (八戸DIME)
- 主 催：八戸学院大学 (スポーツ庁委託事業)
- 講座名：大学資産を活用したアートの学び事業  
 三校連携創作体験ワークショップ  
 「ハチビ×是川縄文ジャック」  
 開催日：令和5年1月15日(日)  
 会 場：八戸市美術館 ワークショップルーム  
 講 師：馬渡 龍 氏 (八戸工業高等専門学校)
- 主 催：八戸学院地域連携研究センター (八戸市美術館委託事業)
- 講座名：大学スポーツ資源を活用した地域振興モデル創出事業  
 「アスリートのためのスポーツ栄養・食育講座」  
 開催日：令和4年1月19日(木)  
 会 場：八戸学院YSサテライト  
 講 師：澤内 昭彦 氏 (日本料理業八戸芽生会)
- 主 催：八戸学院大学 (スポーツ庁委託事業)
- 三八五流通株式会社との連携による健康セミナー「更年期の症状、対策について」  
 開催日：令和4年1月20日(金)  
 会 場：八戸パークホテル  
 講 師：坂本 保子 (八戸学院大学健康医療学部看護学科 准教授)
- 備 考：三八五流通グループ連携協力協定関連事業
- 令和4年度八戸学院教育・研究・社会貢献後援会講演会  
 「地域と共にあゆむ金剛と8baseのバックストーリー」  
 開催日：令和5年1月24日(火)  
 会 場：八戸プラザホテルアーバンホール  
 講 師：大久保 圭一郎 氏 (株式会社 金剛)
- 主 催：八戸学院教育・研究・社会貢献講演会
- 産学官金連携による新ビジネス創発業務  
 「あおり共創プログラム：ワークショップ」  
 開催日：令和5年1月30日(月)  
 会 場：株式会社小坂工務店  
 主 催：八戸学院地域連携研究センター (青森県委託事業)
- 講座名：ERASMUSプロジェクトONLINE講座  
 「家庭科をEUの初等教育に導入するための試験的計画②」  
 開催日：令和5年1月30日(月)  
 会 場：オンライン  
 講 師：加藤 康子 (八戸学院地域連携研究センター副センター長)  
 川守田景子 (八戸学院地域連携研究センター講師)
- 産学官金連携による新ビジネス創発業務  
 「あおり共創プログラム：ワークショップ」  
 開催日：令和5年1月31日(火)  
 会 場：環境緑花工業株式会社  
 主 催：八戸学院地域連携研究センター (青森県委託事業)
- 産学官金連携による新ビジネス創発業務  
 「あおり共創プログラム：ワークショップ」  
 開催日：令和5年2月3日(金)  
 会 場：合同会社マルカネ  
 主 催：八戸学院地域連携研究センター (青森県委託事業)
- 講座名：大学資産を活用したアートの学び事業  
 学生×社会人の学びワークショップ  
 「ジャイアントルーム開拓団②自分を解放、美術館も開放」  
 開催日：令和5年2月18日(土)  
 会 場：八戸市美術館 ジャイアントルーム・スタジオ・八戸市中心街  
 講 師：笹尾 和宏 氏 (『PUBLIC HACK 私的に自由にまちを使う』著者)  
 山下 裕子 氏 (ひと・ネットワーククリエイター・広場ニスト)  
 堤 静子 (八戸学院地域連携研究センターセンター長)
- 主 催：八戸学院地域連携研究センター (八戸市美術館委託事業)
- 講座名：大学資産を活用したアートの学び事業  
 三校連携創作体験ワークショップ  
 「科学工作！光通信機をつくろう」  
 開催日：令和5年2月12日(日)  
 会 場：八戸市美術館 ジャイアントルーム

- 講師：川本 清 氏（八戸工業大学）  
 主催：八戸学院地域連携研究センター（八戸市美術館  
 委託事業）
- 講座名：ERASMUSプロジェクトONLINE講座  
 「家庭科をEUの初等教育に導入するための試験  
 的計画③」
- 開催日：令和5年2月27日(月)  
 会場：オンライン  
 講師：加藤 康子（八戸学院地域連携研究センター  
 副センター長）  
 川守田景子（八戸学院地域連携研究センター  
 講師）
- 講座名：ERASMUSプロジェクトONLINE講座  
 「家庭科をEUの初等教育に導入するための試験  
 的計画④」
- 開催日：令和5年3月13日(月)  
 会場：オンライン  
 講師：加藤 康子（八戸学院地域連携研究センター  
 副センター長）  
 川守田景子（八戸学院地域連携研究センター  
 講師）
- 大学スポーツ資源を活用した地域振興モデル創出事業  
 成果報告会への参加

- 「氷都八戸における次世代育成と食による地域活性化プ  
 ログラム」
- 開催日：令和5年3月6日(月)  
 会場：東京都 ザ・プリンスパークタワー東京  
 登壇者：堤 静子 氏（八戸学院地域連携研究センター  
 センター長）
- 主催：一般社団法人大学スポーツ協会
- 産学官金連携による新ビジネス創発業務  
 「あおり共創プログラム：成果報告会」
- 開催日：令和5年3月15日(水)  
 会場：八戸市美術館 スタジオ  
 主催：八戸学院地域連携研究センター（青森県委託事業）

#### 庶務日誌摘録

- 第1回 令和4年4月12日(火)  
 第2回 令和4年5月31日(火)  
 第3回 令和4年6月28日(火)  
 第4回 令和4年7月26日(火)  
 第5回 令和4年10月25日(火)  
 第6回 令和4年11月29日(火)  
 第7回 令和4年12月26日(月)  
 第8回 令和5年3月7日(火)

## 令和4年度採用教員紹介

### 八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科

#### 野寺 和彦（のでら かずひこ）

1957年東京都新宿区生まれ。地元大久保中学でバスケットボールと出会い53年間選手及び指導者として関わる。玉川大学文学部教育学科卒業後、公立中学21年間勤務。その後、母校玉川学園に戻り中学部に勤務する傍ら東京学芸大学大学院修士卒業。大学女子バスケットボール部では14年連続インカレ出場を果たすとともに大学准教授として任用変更。専門はバスケットボール、体育科指導法、コーチ学、健康スポーツ。現場指導と共に2010年より全日本大学バスケットボール連盟女子強化委員、強化部長を歴任。多くの国際大会に参加（ユニバーシアード大会：深圳、カザン、タイペイ、ナポリ）タイペイでは日本バスケットボール史上50年ぶりの銀メダル獲得。論文：バスケットボールの速攻の戦術行動に関わる状況判断の知識テストの作成(共同)；コーチ学研究等多数。科学研究費助成事業に於いてテーマ「チームやコーチングの現状と望まれるコーチ増及び状況判断能力の獲得過程」の研究分担者。

### 八戸学院大学 健康医療学部 看護学科

#### 西川 健（にしかわ けん）

1967年生、青森県八戸市出身、八戸市立高等看護学院卒業。現在、人間総合科学大学大学院心身健康科学科修士課程在

籍中。八戸市立市民病院に看護師として28年間在籍し、精神科、消化器外科、心臓外科、循環器内科、救命救急センター（フライトナース、DMAT隊員兼務）、消化器内科、COVID-19専門病棟、最終は緩和ケア病棟において看護師長を務め早期退職。2022年4月より現職。救急看護認定看護師であり専門は救急看護、担当科目は成人看護。主な執筆は、「心臓外科患者におけるリハビリプログラムシートの再検討」、「精神科病棟と他科外来との連携を阻害する要因」、「敗血症により急性肺障害を呈した患者に前傾側臥位を実践してみた効果」、「東日本大震災一放射線汚染区域での看護活動を通して」。所属学会：日本看護協会、東北救急看護学会、日本看護科学学会等。

#### 足澤ちか子（たるさわ ちかこ）

1972年生まれ、青森県三戸町出身。秋田赤十字看護専門学校卒業。2022年3月まで八戸赤十字病院で看護師として28年間勤務。2018年岩手医科大学附属病院高度研修センターで認定看護分野緩和ケア課程を修了。同年、緩和ケア認定看護師の資格を取得。がん看護、緩和ケアを専門分野として活動。2022年8月より本学健康医療学部看護学科助教。担当科目は、「回復促進援助論」「基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ」「成人看護援助論Ⅱ」「成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ」。主な業績は、「血液内科で化学療法を受ける患者に対する副作用指導の実態調査（2016年）」、「終末期患者と家族への危機介入－アグレラの危機介入モデルを用いての考察－（2018年）」。所属学会は日本緩和医療学会、日本看護学会。

## 生駒 祐太 (いこま ゆうた)

1995年(平成7年)4月26日生まれ。秋田県大館市出身。秋田看護福祉大学看護福祉学部看護学科卒業。聖マリアンナ医科大学病院の神経精神科で病棟看護師として4年間勤務し、2022年4月から現職。担当科目:日常生活援助論A・B、回復促進援助論、基礎看護学実習I・II、精神看護学実習。研究テーマ:精神疾患の予防や精神障害者のリカバリーについて。論文等:「発達障害及び発達障害特性のある看護師のワーク・エンゲイジメントに寄与する支援に関する文献検討」、「就労継続支援施設で就労する職員のワーク・エンゲイジメントに関する研究」等。研修等:岩手県地域包括支援センターで実施されている業務支援研修でリラクゼーション演習を行う。所属協会:日本看護協会、青森県看護協会、日本精神看護協会。所属学会:日本認知・行動療法学会、日本精神障害者リハビリテーション学会、日本精神保健看護学会。所属研究会:青森県看護教育研究会。

---

### 八戸学院大学短期大学部 介護福祉学科

---

## 柏葉 英美 (かしわば ひでみ)

1956年生、岩手県一戸町出身、青森県立保健大学大学院健康科学研究科博士前期課程修了、修士(健康科学)。岩手県立病院の看護師、岩手県立二戸高等看護学院の教員を経て、岩手県立大学社会福祉学部教授で定年退官。担当科目は、こころとからだのしくみ、発達と老化の理解、子どもの健康と安全等。主な研究テーマは、認知症フレンドリーコミュニティの構築、ヤングケアラーで、一戸町でボランティア団体を立ち上げ、毎月認知症カフェを開催、お買い物支援の実施、こども食堂を開いている。また、ヤングケアラー支援の構築を目的に、高校への出前講義、地域住民対象の講演活動を行っている。主な業績は、地域住民の認知症に対する態度に関する研究、中山間地域で働く住民の認知症の人への態度とその関連要因、認知症バーチャルリアリティの効果、ロジックモデルを用いた認知症カフェ実践の評価など。所属学会は、日本認知症ケア学会、日本ヒューマンケア科学学会。

---

### 地域連携研究センター

---

## 川守田 景子 (かわもりた ひろこ)

青森県八戸市出身。高校卒業後に海外に渡り、主にイギリスとイタリアでフィギュアスケート、マーケティング・リサーチ関係の仕事をしたがらMBA取得(Cardiff Metropolitan University, UK)。その後トルコの国立大学やヨーロッパ/ヨルダン/の大学でアントプレナーシップ&イノベーション関連科目担当(英語プログラム)、Erasmus+(Erasmus Mundus, Youth Projects, ESC)やフランス大使館などのEU資金助成プログラムの企画・運営を10年間務める。イギリスではスタートアップ、The Innovation and Entrepreneurship Research Labの共同

設立・運営、そして、トルコとチュニジアでは中小企業・ベンチャー企業のビジネスコンサルタントとしての活動を経て、2022年9月より現職。担当科目は中小企業・ベンチャー企業論

International Journal of Economics & Strategic Management of Business ProcessとInternational Journal of Business & Economic Strategyの編集長。学会Series of Scientific Conference"WHAT IT IS AND WHAT IT ISN'T"の共同主催者。

専門分野は起業家精神に関する研究(Entrepreneurial Studies)、研究テーマはメディア起業家精神(Media Entrepreneurship)、起業家大学(Entrepreneurial Universities)、農村女性起業家精神(Rural Women Entrepreneurship)、知的資本(Intellectual Capital)、回復力(Resilience)。